

平成25年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

平成25年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成25年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年月日	会議名称	場所	議案
平成25年6月5日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成24年度事業報告及び収支決算について 2.定時評議員会の招集事項について
平成25年6月24日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成24年度事業報告及び収支決算について 2.理事、監事の選任について 3.評議員の選任について 4.役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
平成25年11月29日	第2回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成25年度 事業の進捗について 2.平成25年度 補正予算書(案)について
平成26年3月25日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成25年度第二次補正予算書(案)について 2.平成26年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

2. 役員・評議員の異動状況

年月日	就任	辞任
平成25年6月24日		評議員 小川 照夫
平成25年6月24日		評議員 蔵口 康裕
平成25年6月24日		評議員 竹林 弘美
平成25年6月24日		評議員 中西 正人
平成25年6月25日	評議員 首藤 修一	
平成25年6月25日	評議員 西野 裕久	
平成25年6月25日	評議員 西牧 研壯	
平成25年6月25日	評議員 松村 恵司	

Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府下における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

(1)〔中部調査事務所管内〕

- ①独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄清算事業 西日本支社が施行する吹田(信)基盤整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 (13) (調査・整理)	3,972,000	37	吹田市

- ②独立行政法人 都市再生機構 西日本支社が施行する北部大阪都市計画事業 吹田操車場跡地土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡・明和池遺跡 (整理)	50,181,000	0	吹田市・摂津市

- ③独立行政法人 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 (契約締結のみ)	0	0	吹田市

- ④大阪府都市整備部 茨木土木事務所(新名神関連事業建設事業所)が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線(高槻東道路 梶原工区)建設事業、ならびに主要地方道西京高槻線パイパス道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
梶原寺跡隣接地 (試掘)	5,628,000	80	高槻市

- ⑤大阪府都市整備部 茨木土木事務所(新名神関連事業建設事業所)が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線(高槻東道路 梶原工区)道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
梶原西遺跡 (調査)	13,127,000	2,798	高槻市

- ⑥大阪府都市整備部 茨木土木事務所(新名神関連事業建設事業所)が施行する一般国道170号(十三高槻線)道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
上牧遺跡隣接地 (試掘)	5,958,000	105	高槻市
井尻遺跡 (調査)	17,879,000	1,754	高槻市

⑦大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道
茨木摂津線（都市計画道路大岩線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
千提寺南遺跡隣接地（試掘）	1,967,000	128	茨木市

⑧大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）、ならびに西日本高速
道路株式会社 関西支社が施行する近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（補助車線事業）
と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称 高槻東道路）事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
磐手杜古墳群 他（確認・試掘）	(府) 1,443,525	140	高槻市
	(西) 1,595,475		
磐手杜古墳群(2)（調査）	(府) 1,218,900	245	高槻市
	(西) 2,844,100		

⑨大阪府警察本部が施行する大手前立体駐車場建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡（調査）	104,937,000	1,590	大阪市中央区

⑩地方独立行政法人 大阪府立病院機構が施行する大阪府立成人病センター整備事業（P F
I 事業）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡（調査・整理）	25,752,000	1,622	大阪市中央区

⑪西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸
線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
成合遺跡 他（整理）	41,501,000	0	高槻市
成合地獄谷遺跡 他（調査）	28,946,000	3,730	高槻市
千提寺西遺跡(2)・日奈戸遺跡 他（調査）	40,596,000	8,240	茨木市
千提寺西遺跡 他（整理）	44,391,000	0	茨木市
千提寺南遺跡（調査・調査）	17,986,000	1,066	茨木市
止々呂美城跡（調査）	47,531,000	687	箕面市
止々呂美城跡（整理）	16,036,000	0	箕面市

⑫西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線
八尾パーキングエリア新設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
久宝寺遺跡（整理）	5,495,000	0	八尾市

⑬西日本旅客鉄道株式会社が施行する東海道本線摂津富田・茨木間新駅設置工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
総持寺遺跡 (調査・整理)	13,802,000	204	茨木市

⑭三菱地所レジデンス株式会社が施行する共同住宅建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
本町遺跡 (整理)	2,739,000	0	豊中市

⑮宗教法人 神慈秀明会が施行する教会建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
蛭池北遺跡 (調査・整理)	7,308,000	933	豊中市

⑯イオンモール株式会社が施行する大型店舗建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
讃良郡条里遺跡 (調査・整理)	17,681,000	300	四條畷市・寝屋川市

中部調査事務所管内 計

受託件数 26件
 委託金額 520,515,000円
 調査面積 23,659㎡

(2)〔南部調査事務所管内〕

①防衛省 近畿中部防衛局が施行する格納庫建替事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
田井中遺跡 (調査・整理)	93,948,000	1,966	八尾市

②大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業(一級河川恩智川法善寺多目的遊水地) 地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡(2) (調査・整理)	52,350,000	3,500	柏原市

③大阪府都市整備部 富田林土木事務所(松原建設事業所)が施行する都市計画道路堺松原線に伴う松原市道天美北61~64号線(近鉄環境側道) 整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
天美北6丁目北遺跡 (調査・整理)	6,218,000	104	松原市

④大阪府都市整備部 鳳土木事務所が施行する都市計画道路池上下宮線建設工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群 (調査)	6,321,000	1,933	和泉市

⑤大阪府住宅まちづくり部 住宅経営室住宅整備課が施行する大阪府営瓜破西(第3期)住宅(建て替え)建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜破北遺跡 (報告書印刷)	306,000	0	大阪市平野区

⑥大阪広域水道企業団が施行するバイパス送水管(藤井寺～長吉)整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
川北遺跡 (調査・整理)	13,185,000	380	藤井寺市

南部調査事務所管内 計

受託件数 6件
 委託金額 172,328,000円
 調査面積 7,883㎡

<調査事業総計>

受託件数 32件
 委託金額 692,843,000円
 調査面積 31,542㎡

(平成20年度 調査面積 70,203㎡)
 (平成21年度 調査面積 67,626㎡)
 (平成22年度 調査面積 58,255㎡)
 (平成23年度 調査面積 73,521㎡)
 (平成24年度 調査面積 76,041㎡)

2. 技術支援

平成21～24年度に引き続き、公益財団法人 鳥取県教育文化財団からの依頼に基づき、鳥取西道路建設事業地内で実施された松原田中遺跡・金沢坂津口遺跡・常松菅田遺跡の発掘調査の技術支援のために職員3名を出向させた。

また、平成25年度は、公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、東日本大震災の復旧・復興事業地内で実施された田の浜館跡・沢田Ⅲ遺跡・伏津館遺跡の発掘調査の技術支援のために職員2名、さらに、公益財団法人 和歌山県文化財センターからの依頼に基づき、第二阪和自動車道建設事業地内で実施された平井遺跡・平井Ⅱ遺跡の発掘調査の技術支援に職員1名、公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、和歌山市計画道路松島本渡線建設事業地内で実施された津秦Ⅱ遺跡・井辺遺跡の発掘調査の技術支援に職員1名をそれぞれ出向させた。

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 平成25年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
6月20日	「渡来人の生活文化と王権」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	56	近鉄文化サロンとの共催講座
7月18日	「災害と復興の考古学」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	44	近鉄文化サロンとの共催講座
10月10日	「天下の台所「大坂」－考古学からみた魚食文化－」	一般	高石市図書館	21	大阪府教育委員会・高石市教育委員会との共催
10月17日	「古代人の食卓風景」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	50	近鉄文化サロンとの共催講座
12月19日	「死と再生のデザイン」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	64	近鉄文化サロンとの共催講座
1月26日	「発掘!検証!キリシタン墓－高山右近とキリシタン－」	一般	高槻市生涯学習センター	312	文化庁の補助金事業の採択を得て実施
3月15日	「難波宮跡出土柱材の年代－新たな年代測定法の誕生」	一般	近つ飛鳥博物館	66	近つ飛鳥博物館スポット展示と関連して実施
3月16日	「大阪を掘る－最新発掘調査の成果－」	一般	近つ飛鳥博物館	43	大阪市教育委員会等との共催事業として実施

計 656名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
5月24日	「豊臣氏滅亡への序章－大坂冬の陣を掘る－」	会員	日本水道協会	「日本水道協会土曜会」	30
5月27日	「行基－考古学で探る行基 建立四十九院－」	一般	大阪府労働会館	エル・おおさか歴史セミナー	95

実施月日	内容	対象者	会場	備考	参加人数
5月27日	「考古学最前線Ⅱー遺跡から何が分かっているのか？海外編」①	一般	桃山学院大学	桃山学院大学桃山学院大学エクステンション・センターの講師	17
5月27日	「考古学最前線Ⅱー遺跡から何が分かっているのか？海外編」②	一般	桃山学院大学	桃山学院大学桃山学院大学エクステンション・センターの講師	16
5月27日	「考古学最前線Ⅱー遺跡から何が分かっているのか？海外編」③	一般	桃山学院大学	桃山学院大学桃山学院大学エクステンション・センターの講師	17
6月25日	「発掘調査報告会」	一般	摂津市立コミュニティプラザ	吹田操車場遺跡・明和池遺跡の保存と活用を考える市民の会の依頼	21
7月1日	「千提寺キリシタン墓地発掘調査報告会」	一般	カトリックセンター・サクラファミリア	高山右近列福運動推進委員会の依頼	90
7月4日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立女性センター	堺 自由の泉大学「歴史探訪と考古学」講座	19
7月27日	「泉佐野市諸目遺跡の発掘調査」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第57回土曜講座	14
8月25日	「中世のムラとお墓・墓地」 「千提寺西遺跡の調査成果ー中世墓から近世墓への変遷とキリシタン墓」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ博物館研究・調査報告会	101
7月27日	「泉佐野市諸目遺跡の発掘調査」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第57回土曜講座	14
9月28日	「高槻市成合遺跡の発掘調査」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第59回土曜講座	12
10月4日	「千提寺遺跡群の調査ーキリシタン墓の発見ー」	一般	京都市生涯学習総合センター	京都市生涯学習総合センター アスニーセミナー	64
10月21日	「邪馬台国を支えた水田と畑」	一般	大阪府労働会館	エル・おおさか歴史セミナー	85
11月16日	「讃良郡条里遺跡」	一般	大阪府立弥生文化博物館	大阪府立弥生文化博物館 スポット展講演会	161

計 756名

2. 現地説明会・現地公開事業

平成25年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内容	対象者	場所	参加人数
11月20日	大県郡条里遺跡現地公開	一般	柏原市大県郡条里遺跡	38

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
11月23日	大坂城跡現地説明会	一般	大阪市大坂城跡	467

計 505名

3. 文化財体験学習事業

(1) 出前授業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月2日	「弥生時代のくらし」	小学6年生(3クラス)	泉佐野市立長南小学校	85
9月25日	地域誌カリキュラム 「古墳の話」	懐風館高校2年生	大阪府立懐風館高等学校	22
9月27日	地域誌カリキュラム 「古墳の話」	懐風館高校3年生	大阪府立懐風館高等学校	40

計 147名

(2) 子ども向けの体験事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月6日	「縄文土器の模様 を作ってみよう」	一般(子ども向け)	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	8
7月21日	「江戸時代のこども の遊び」	一般(子ども向け)	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	10
8月17・18日	「埴輪貯金箱を作 ろう」	一般(子ども向け)	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	97

計 115名

(3) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月22日～ 7月26日	夏季集中講座「考 古学入門」	大阪府立今宮高校2年 生	弥生文化博物館ほか	13
10月17日	古代日本史研究旅 行「考古学体験」	和光高校2年生	弥生文化博物館ほか	24
12月9日	集中講座「考古学 入門」	大阪府立大手前高校生	大坂城跡	12

計 49名

(4) 発掘現場等の見学等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内容	対象者	場所	参加人数	備考
11月13日	発掘体験	2・3年生	駒ヶ谷遺跡	22	府立懐風館高校生、羽曳野市教委の協力
11月22日	発掘現場見学	6年生	大県郡条里遺跡	78	柏原市立堅下北小学校生徒が見学

計 100名

4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内容	対象者	会場	備考
6月18日～ 7月21日	「国内最古の「分銅」の発見とその意義」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展示
7月2日～ 7月21日	「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見」	一般	大阪府立中央図書館	旧大阪府庁舎跡出土遺物を展示
11月12日～ 12月1日	「最新報告 讃良郡条里遺跡の弥生時代」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展示
8月1日～ 10月14日	「キリシタン墓発見！～千提寺地区発掘調査速報展～」	一般	茨木市立キリシタン遺物史料館	茨木市立キリシタン遺物史料館との共催
10月2日～ 12月23日	「茅渟の海のなりわい」	一般	高石市立図書館郷土資料室	大阪府教育委員会・高石市教育委員会・弥生文化博物館との共催
1月11日～ 3月16日	「茅渟の海のなりわい」	一般	堺市すえむら資料館	大阪府教育委員会・高石市教育委員会・弥生文化博物館との共催
3月4日～ 4月6日	「難波宮跡出土柱材の年代—新たな年代測定法の誕生」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館スポット展示

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（24年度）を編集した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレッ

ト等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成 20 年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行ったほか、記念講演会「ヤマト王権と地域首長」に鹿野壘を派遣し、基調講演「百舌鳥・古市古墳群とその前夜」を行った。

6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第 19 回の平成 25 年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、当センターが開催法人となり、平成 24 年 11 月 22 日(金)、大阪府立弥生文化博物館で開催した。『まつりと弔い』というテーマで 11 本の研究発表が行われ、当センターからは若林幸子が「中世後葉から近世にかけての墓の変遷とキリシタン墓」と題して発表を行った。

7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成 25 年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	372冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	2,755冊
計	3,127冊
累計	85,710冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。
蔵書データベースは総計 82,700 レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
島根県立古代出雲歴史博物館	「倭の五王と出雲の豪族」展	大庭寺遺跡：須恵器ほか
等 24 件	計	821 点

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
堺市立みはら歴史館	堺市立みはら歴史館 常設展示	真福寺遺跡：梵鐘鋳型ほか
等 10 件	計	245 点

③ 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸出先	使用目的	出品資料
朝日新聞出版	週刊 新発見!日本の歴史28号 「江戸1 徳川家康の国家構想」	大坂城跡:木簡、調査地全景
等68件	計	409点

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成25年度は、下記の図書を出版した。

- 1 瓜破北遺跡
- 2 久宝寺遺跡2
- 3 吹田操車場遺跡9
- 4 大県郡条里遺跡
- 5 蛭池北遺跡
- 6 川北遺跡
- 7 本町遺跡
- 8 千提寺南遺跡
- 9 止々呂美城跡
- 10 天美北6丁目北遺跡
- 11 大阪文化財研究 第43号
- 12 芹生谷遺跡Ⅲ
- 13 瓜破北遺跡Ⅱ
- 14 瓜破北遺跡Ⅲ
- 15 久宝寺遺跡・瓜生堂遺跡・讃良郡条里遺跡
- 16 長池窯跡群
- 17 禁野本町遺跡
- 18 柳原遺跡
- 19 太井遺跡発掘調査概要・Ⅲ
- 20 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報17

※12 から 20 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成25年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1, 418冊

9. 保存処理事業

(1) 平成25年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200点
大坂城跡	木製品	整理・点検	400点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200点
下田遺跡	木製品	整理・点検	150点
讚良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	100点
大坂城跡	木製品	PEG-FD処理	100点
巢本遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
瓜生堂遺跡	木製品	PEG-FD処理	110点
諸目遺跡	木製品	PEG-FD処理	30点
大坂城跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	200点
大坂城跡13-2	金属遺物	アクリル樹脂処理	7点
止々呂美城跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	32点
成合遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	81点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	30点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	327点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	5000点
明和池遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
吹田操車場遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
久宝寺遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
禁野本町遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
田井中遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 200点

PEG:ポリエチレングリコール FD:真空凍結乾燥を示す。

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

弥生プラザは、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナー。

<弥生プラザ展示>

「田井中遺跡—河内平野における弥生文化の成立を探る—」

平成25年4月2日(火)～平成25年12月23日(月祝)

「雁屋遺跡 北河内の弥生時代拠点集落」

平成26年3月4日(火)～平成26年3月30日(日)

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示した。

2. 特展企画展事業

(1) 春季企画展「とんぼ玉100人展—小さな夏の涼 現代作家のおもてなし—」

【入館者数：9,523名 154名/日】

ア. 開催概要 ガラス工芸のなかでも、ひときわ繊細な輝きを放つとんぼ玉。本展では、瑞瑞しい感性と確かな技術に裏打ちされた現代作家たちの作品を展示した。

イ. 開催期間 平成25年5月25日(土)～8月4日(日) 【会期：62日間】

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)

()内は団体割引料金

オ. 展示解説 とんぼ玉製作者による実演会などを実施した。

実施日：6月2日(日)110名、6月29日(土)95名、7月6日(土)82名、7月14日(土)105名

【参加者数：計392名】

(2) 夏季特別展「弥生人の船—モンゴロイドの海洋世界—」

【入館者数：7,123名 130名/日】

ア. 開催概要 船は無限の世界への扉を開く鍵。謎の多かったこの時期の船も、近年の発掘調査でみえてきている。造船技術に大きな進歩がみられ、大海原を船団が行き来した弥生時代の船はどのようなものか。目的地にたどりつくその航海術は？縄文時代、古墳時代、そして古代モンゴロイドの海洋文化と比較して考えた。

イ. 開催期間 平成25年8月13日(火)～10月14日(月祝) 【会期：55日間】

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料 一般 600 円 (480 円)、65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)
() 内は団体割引料金

オ. 印刷物 図録、ワークシート

カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

8 月 31 日 (土) 25 名、9 月 7 日 (土) 39 名、9 月 21 日 (土) 38 名、

10 月 14 日 (月祝) 82 名

【参加者数：184 名】

(3) 秋季特別展「吉備と邪馬台国—靈威の継承—」 【入館者数：16,380 名 298 名/日】

ア. 開催概要 瀬戸内海に臨み、肥沃な平野を有する要衝の地「吉備」。この地は、いち早く首長墓が形成されることや埴輪の起源である特殊器台の発見がみられるなど、邪馬台国の時代への道のりを考える上で重要な地と言える。本展では、吉備弥生社会の様子から、弥生時代の具体像に迫る展示を行った。

イ. 開催期間 平成 25 年 10 月 22 日 (火) ~12 月 23 日 (月祝)

【会期：55 日間】

ウ. 開催場所 特別展示室

エ. 入館料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

() 内は団体割引料金

オ. 印刷物 図録、リーフレット、子ども解説シート

カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

10 月 26 日 (土) 13 名、10 月 30 日 (土) 21 名、11 月 2 日 (土) 101 名、

11 月 3 日 (日祝) 53 名、11 月 9 日 (土) 68 名、11 月 23 日 (土祝) 63 名、

11 月 30 日 (土) 52 名、12 月 7 日 (土) 60 名、12 月 17 日 (火) 45 名、

12 月 23 日 (月祝) 121 名

【参加者数：合計 563 名】

(4) 冬季企画展 摂河泉シリーズ1「和泉 王の系譜—稲作の伝来から前方後円墳の成立—」

【入館者数：7,037 名 131 名/日】

ア. 開催概要 大阪南西部、泉州に根付いた弥生文化は、社会に大きな変化をもたらした。生産力が高まり、ムラとムラとのつながりが強まる中、クニや王権が産声をあげる。弥生時代の巨大環濠集落、古墳時代の王墓・前方後円墳に当時の社会状況が映し出される。人々は激動の世をどのように乗り越えていったのか。さらに、支配のあり方を追求する展示を行った。

イ. 開催期間 平成 26 年 1 月 13 日 (月祝) ~平成 26 年 3 月 16 日 (日)

【会期：54 日間】

ウ. 場所 特別展示室

エ. 入館料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円)

() 内は団体割引料金

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

1 月 13 日 (月祝) 87 名、2 月 1 日 (土) 45 名、3 月 16 日 (日) 31 名

【参加者数：合計 163 名】

(5) その他展示事業

- ① 春季企画展示「創作展 いずみ」 【参加者数：9,458名 338名/日】
- ア. 開催概要 和泉市文化協会美術11部門（押し花、木彫り、写真、書道、水墨画、ちぎり絵、陶芸、南画、日本画、俳画、洋画）の粋を一同に集めた展示を行った。
- イ. 開催期間 平成25年4月6日（土）～5月6日（月祝） 【会期：28日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般300円（240円）、65歳以上及び高校大学生 200円（160円）
- （ ）内は団体割引料金

- ② 特別陳列 東京国立博物館考古資料相互活用促進事業「和泉黄金塚古墳と卑弥呼の鏡」 【参加者数：6,206名 127名/日】
- ア. 開催概要 和泉信太山の丘陵に築かれた王墓、和泉黄金塚古墳。全長90mを越える大型前方後円墳からは3基の埋葬施設が確認され、その中央から「景初三年」の銘を持つ青銅鏡が出土した。これは邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送った年。美しい装飾品とともに埋葬された人物と卑弥呼の関係は？ 青銅鏡、装飾品など鍵を握る副葬品から和泉の古代史に思いをはせた。
- イ. 開催期間 平成26年1月5日（日）～平成26年3月2日（日） 【会期：49日間】
- ウ. 開催場所 第1展示室

3. 講演会事業等

(1) 春季企画展「とんぼ玉100人展」関連

- ① とんぼ玉制作実演
- 6月2日（日） 竹内 太祐 【参加者数：110名】
- 6月29日（土） 内田 敏樹 【参加者数：95名】
- 7月6日（土） 山本 達也 【参加者数：82名】
- 7月13日（土） 増井 敏雅 【参加者数：105名】
- ② 「とんぼ玉製作体験」講師 佐竹ガラス 流工房
- 6月8日（土）、6月16日（土）、6月22日（土） 【参加者数：141名】

(2) 夏季特別展「弥生人の船」関連

- ① 考古学セミナー
- 8月31日（土）「黒潮圏の考古学」元東京都学芸員 小田静夫 【参加者数：145名】
- 9月7日（土）「弥生の海を往く船とその信仰」奈良大学名誉教授 水野正好 【参加者数：151名】
- 9月21日（土）「倭人船—久宝寺・加美遺跡出土の船材を中心として—」京都橘大学教授 一瀬和夫 【参加者数：129名】
- 10月14日（月祝）「古代モンゴロイドの海洋世界」南山大学教授 後藤 明 【参加者数：180名】
- ② 関連ワークショップ
- 8月25日（日）「船のペーパークラフト—出航！弥生の海へ—」 【参加者数：75名】

9月22日(日)「船のペーパークラフトー出航! 弥生の海へー」 【参加者数: 24名】

(3) 秋季特別展「吉備と邪馬台国ー靈威の継承」関連

① 関連講演

11月2日(土)「吉備弥生社会の変容と古墳時代への移行」 【参加者数: 359名】

岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 松木 武彦

11月9日(土)「吉備弥生文化の成立と発展」 【参加者数: 239名】

総社市教育委員会文化課主幹 平井 典子

11月23日(土祝)「吉備弥生人の姿と心」 【参加者数: 215名】

岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授 光本 順

11月30日(土)「継承論理の創出」 【参加者数: 182名】

徳島文理大学文学部文化財科教授 大久保 徹也

12月7日(土)「ヤマトの国邑」 【参加者数: 235名】

田原本町教育委員会文化財保存課課長 藤田 三郎

12月23日(月祝)「前方後円墳の創生」 【参加者数: 616名】

桜井市纏向学研究センター所長 寺沢 薫

② 関連ワークショップ

11月10日(土)「消しゴムと粘土でつくっちゃおう! 弥生人のかお」 【参加者数: 72名】

11月17日(土)「消しゴムと粘土でつくっちゃおう! 弥生人のかお」 【参加者数: 134名】

(4) 冬期企画展 摂河泉シリーズ第1弾「和泉 王の系譜ー稲作の伝来から前方後円墳の成立ー」

関連考古学セミナー

1月13日(月祝)「泉州における古墳文化の受容ー邪馬台国時代の一大拠点集落ー」

大阪府立近つ飛鳥博物館 副館長 西村 歩 【参加者数: 201名】

2月1日(土)「製塩土器でわかる泉州と他地域のむすびつき」 【参加者数: 135名】

泉南市教育委員会 河田 泰之

3月16日(日)「池上曾根遺跡の今」 【参加者数: 165名】

講演「池上曾根遺跡の最新の調査成果」

和泉市教育委員会 千葉太朗

シンポジウム「池上曾根遺跡の今」

和泉市教育委員会 千葉太朗、乾 哲也、元泉大津教育委員会 坂口昌男

当館館長 黒崎 直、当館副館長 秋山浩三

(5) 特別陳列「和泉黄金塚古墳と卑弥呼の鏡」

関連考古学セミナー

2月9日(日)「4世紀後半の和泉と黄金塚古墳の鏡」 【参加者数: 335名】

大阪市立大学文学部准教授 岸本直文

(6) スポット展示

- ① 「国内最古の分銅の発見とその意義」 6月18日(火)～7月21日(日) 【参加者数：3,666名】
② 「讃良郡条里遺跡の弥生時代」 11月12日(火)～12月1日(日) 【参加者数：4,624名】
③ スポット展示関連シンポジウム
「讃良郡条里遺跡の弥生時代」報告 11月16日(土) 【参加者数：161名】

(7) 弥生博の考古学講座「My digging 弥生研究を変えた遺跡」

- 5月25日(土) 「土井ヶ浜遺跡—女王国の門戸・豊浦—」 【参加者数：49名】
奈良大学名誉教授 水野正好
6月15日(土) 「讃良郡条里遺跡—弥生文化の伝播—」 【参加者数：58名】
当館総括学芸員 中尾智行
7月20日(土) 「大中の湖南遺跡—弥生の地下の正倉院—」 【参加者数：119名】
当館館長 黒崎 直
8月17日(土) 「榑築弥生墳丘墓—吉備大首長墓の実相—」 【参加者数：202名】
当館副館長 秋山浩三

(8) 弥生時代入門講座 聞いてなっとく弥生の世界(近畿弥生の会との共催)

- 6月22日(土) 「近畿の青銅器祭祀」 【参加者数：73名】
愛媛大学ミュージアム准教授 吉田 広
8月10日(土) 「弥生時代の家族と社会～お葬式の考古学～」 【参加者数：79名】
京都府教育委員会副主査 藤井 整
10月26日(土) 「近江の大型建物と集落の様相」 【参加者数：91名】
公益財団法人栗東市体育協会文化財調査課係長 近藤 広
12月14日(土) 「木器からみた弥生社会」 【参加者数：75名】
兵庫県立考古博物館事業部学芸課長補佐 篠宮 正
2月8日(土) 「丹後地域の墓制と地域間関係」 【参加者数：73名】
公益財団法人元興寺文化財研究所研究員 村田裕介

【5回参加者数 計391名】

(9) 弥生博 木曜大学

前半講義テーマ「弥生の人びとが生きた世界」

講師 当館副館長 秋山浩三

- 11月7日(木) 「米食の始まり—縄文時代から弥生時代へ—」 【参加者数：118名】
11月14日(木) 「最初の<近畿弥生人>は何処から来たか」 【参加者数：149名】
11月21日(木) 「弥生人の体格と衣食住」 【参加者数：115名】
11月28日(木) 「弥生人の生業(なりわい)」 【参加者数：129名】
12月5日(木) 「弥生人のマツリ」 【参加者数：141名】

- 12月12日(木) 「弥生集落の風景」 【参加者数：149名】
 12月19日(木) 「弥生時代に「都市」は存在したか」 【参加者数：147名】
 1月16日(木) 「卑弥呼の墓はどれかー弥生墓から古墳へー」 【参加者数：244名】
 1月23日(木) 「古墳の誕生ー弥生時代から古墳時代へー」 【参加者数：241名】

後半講義テーマ「トイレ考古学入門」

講師 当館館長 黒崎 直

- 1月30日(木) 「トイレは何処だ！ートイレ遺構の発見ー」 【参加者数：144名】
 2月6日(木) 「どうしてトイレと判るのか？ートイレ考古学の確立ー」 【参加者数：164名】
 2月13日(木) 「古代都市のトイレ事情ー藤原京・平城京のトイレ遺構ー」 【参加者数：175名】
 3月6日(木) 「日本列島・西と北のトイレー鴻臚館(こうろかん)跡・秋田城跡のトイレ遺構ー」 【参加者数：139名】
 3月13日(木) 「中世のトイレー平泉・鎌倉のトイレ遺構と描かれたトイレー」 【参加者数：127名】
 3月20日(木) 「トイレ遺構の研究、あれこれートイレ考古学の現在・過去・未来ー」 【参加者数：119名】

(10) 若き考古学徒、論壇デビュー！

- 第1回 1月25日(土) 【参加者数：87名】
 「弥生時代における鉄器生産の様相ー近畿地方を中心にー」
 関西大学大学院博士課程前期課程2年次 今井真由美
 「集落からみる律令体制形成期の畿内社会」
 大阪市立大学大学院前期博士課程1回生 道上祥武
 「学生時代と考古学と博物館」
 当館館長 黒崎 直、当館副館長 秋山浩三、当館学芸員 柴田妃三光
- 第2回 2月15日(土) 【参加者数：99名】
 「畿内における古墳出現期土器の展開ー摂津地域を対象としてー」
 大阪大学学部4回生 岩越陽平
 「古墳における水鳥形埴輪の役割に関する考察ー近畿の古墳を中心にー」
 近畿大学学部4回生 黒田夏希
 「鋳留短甲における副葬方法の変遷」
 関西大学大学院博士課程後期課程1年次 藤井陽輔
- 第3回 3月15日(土) 【参加者数：87名】
 「弥生時代後期山陰圏の形成プロセスと内実解明にむけて」
 大阪市立大学大学院前期博士課程1回生 山口綾子
 「弥生時代後半期における地域間交流の動態ー東部瀬戸内海地域を対象としてー」
 大阪大学大学院博士前期課程1回生 桐井理揮
 「遠江における古墳時代の須恵器生産」
 関西大学学部4回生 北嶋未貴

(11) 弥生博と池上曾根遺跡にかかわった「めおと de 考古学」

第1回 2月22日(土) 【参加者数:46名】

「弥生博学芸員の頃／そして、遺跡の発掘調査にかかわった頃」

東大阪市立小学校教諭(元当館) 東 徹志、元東大阪市教育委員会嘱託 東 朋子

「弥生石器研究の展開／そして、池上曾根遺跡の学術史における位置」

同志社大学 若林邦彦、公益財団法人文化財センター 若林幸子

第2回 3月22日(土) 【参加者数:51名】

「弥生集落・建物研究の展開／そして、博物館指定管理者制度の揺籃期」

西宮市教育委員会 合田茂伸、大阪府文化財センター(元当館) 合田幸美

「池上曾根遺跡の調査・保護運動・史跡整備と煩悶／そして弥生土器研究の展開 第二阪和道路調査整理の秘話」日本民家集落博物館 井藤 徹、元財団法人大阪府文化財センター 井藤暁子

(12) 弥生フェスティバル連続講演会 邪馬台国をヤマトに探る「纏向と箸墓」

3月25日(火) 「纏向遺跡と箸墓古墳の出現」 【参加者数:310名】

桜井市教育委員会文化財課調査研究係長 橋本輝彦

3月26日(水) 「纏向と箸中山(箸墓)」 【参加者数:305名】

兵庫県立考古博物館館長 石野博信

3月27日(木) 「問い直すべき箸墓古墳の築造」 【参加者数:296名】

日本考古学協会理事 森岡秀人

3月28日(金) 「ヤマト国から倭国へー纏向石塚から箸墓へー」 【参加者数:295名】

大阪市立大学准教授 岸本直文

3月29日(土) 「箸墓古墳像の再構築に向けて - 微の巻 基本資料の再確認 - 」 【参加者数:241名】

宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室陵墓調査官 福尾正彦

3月30日(日) 「箸墓古墳の存在と‘魏志倭人伝’」 【参加者数:267名】

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館学芸課長 今尾文昭

(13) その他

大阪湾見守りネット・きしわだ自然資料館主催講演会(タカラハーモニストファンド助成事業)

4月7日(日) 「大阪湾を中心としたタコ壺漁の歴史」 【参加者数:38名】

兵庫県立考古博物館事業部学芸課課長補佐 篠宮 正

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

運営委員:安井 征雄(ヴァオリン) 稲本 直(コンサート企画)、田中寛治(社会教育)

5月26日(日) 「音楽に寄せて～魅惑のピアノズム～」 【参加者数:188名】

- 入谷幸子 (ピアノ)
- 6月9日(日)「4人のロマン派作曲家による様々な「愛」のカタチ」 【参加者数：181名】
山口和子 (ソプラノ)、農頭奈緒 (ヴァイオリン)、西村 彩 (ピアノ)
- 6月30日(日)「フルーツパーティー」 【参加者数：283名】
フルーツアンサンブル エスカル
- 7月7日(日)「たなばた☆コンサート～ピアノで綴る名曲の調べ～」 【参加者数：213名】
木村彩乃、荒賀なみ (ピアノ)
- 7月21日(日)スペシャルコンサート「～オリジナル楽器で聴く ウィーンの調べ～」
デンハーグピアノ五重奏： 【参加者数：286名】
小川加恵 (フォルテピアノ)、高橋未希 (ヴァイオリン)、朝吹園子 (ヴィオラ)
アダム・レマー (ヴァイオリン)、山本 徹 (チェロ)、角谷朋紀 (コントラバス)
- 7月28日(日)「SUMMER JOINT CONCERT～ヴァイオリンとピアノで奏でる名曲～」 【参加者数：226名】
大川彬子 (ヴァイオリン)、藤本実沙 (ピアノ)
- 8月18日(日)「風と木の調べ」 【参加者数：192名】
KCO 室内アンサブル：
高橋夏樹 (フルート)、政次知己 (オーボエ)、大沼正史 (クラリネット)
西島直子 (ファゴット)、石谷亮介 (ホルン)、十川登志夫 (チェロ)
浜崎綾子・三木 弦 (ヴァイオリン)、萩原 愛 (ヴィオラ)、中村敦子 (ピアノ)
- 9月1日(日)「2台のピアノによるコンサート「My Favorite Things」Piano×Piano!」
松浦尚美、霧圭子、吉田薫、武田友子、仲西洋子 (ピアノ) 【参加者数：171名】
- 9月15日(日)スペシャルコンサート「ふいご楽器で巡る欧州音楽紀行～アイリッシュケルトから東欧ロ
マまで～」 【参加者数：151名】
ふいごっち (鞆屋)：藤沢祥衣 (アコーディオン・コンサーティナ)
金子鉄心 (イーリアン・パイプス、ティンホイッスル他)
- 9月29日(日)「ピアノ&ヴァイオリンオータムコンサート」 【参加者数：184名】
谷村真紀 (ピアノ)、山下悠介 (ヴァイオリン)
- 10月5日(土)トワイライトコンサート「昭和のジャズ名曲コンサート」 【参加者数：242名】
いまむら直子 Duo：いまむら直子 (ピアノ&ボーカル)、田中洋一 (トランペット)、
宮野友邑 (ベース)、澤崎 至 (ドラム)
- 10月20日(日)「秋*彩り」 【参加者数：117名】
ぐれいす：初瀬川未雪 (ピアノ)、長岡真貴子 (サクソフォン)、横白美智代 (打楽器)
- 11月24日(日)「地球は歌っている ギター音楽の世界」 【参加者数：208名】
佐久間優 (クラシックギター)
- 12月1日(日)「水の精を中心に」 【参加者数：171名】
林友季子 (ピアノ)
- 12月8日(日)「3つのキセキ～トリオの軌跡・音楽の奇跡～」 【参加者数：210名】
トリオ・サンタロサ：

田久保友妃 (ヴァイオリン)、竹中裕深 (チェロ)、本多千紘 (ピアノ)

12月15日(日)「天使の響き〜ハンドベルコンサート part7〜」 【参加者数:182名】

ドリーム21ハンドベル教室(ハンドベル)、高木至通、高木希見子

1月5日(日)「津軽三味線と民謡のひととき」 【参加者数:294名】

亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子(津軽三味線・民謡)

1月19日(日)「冬の日の幻想」 【参加者数:143名】

浅川晶子(ピアノ)

1月26日(日)「鳥の想い、人の心」 【参加者数:140名】

大城梨花(フルート)、大城杏子(ピアノ)

2月2日(日)「バロックから古典へ」 【参加者数:285名】

アンサンブル大阪:

木村直子、安田華香(ヴァイオリン)、中塚哲司(ヴィオラ)、伊石昂平(チェロ)

宮田雄規(コントラバス)、吉田奈穂(フルート)、中本吉啓(クラリネット)

村田理子(ピアノ)、徳永直樹(指揮)

2月16日(日)「彼方に広がる冬の音楽」 【参加者数:175名】

盛谷明美(ピアノ)

3月2日(日)「うきうき楽しいオカリナアンサンブル」 【参加者数:166名】

オカリナアンサンブル『ピクニック』:

竹田正俊・小川知子・野田佳子・西岡昭彦・田中理子

3月9日(日)「オペラティックトリオによるバラエティコンサート ♪お城へようこそ♪♪〜唱歌からオペラまで〜」 【参加者数:182名】

オペラティックトリオ:

村田紀子(ソプラノ)、小島百合子(メゾソプラノ)、林典子(ピアノ)

3月23日(日)「テオ feel so goood!」 【参加者数:165名】

アンサンブル・テオフィール:田久保友妃(ヴァイオリン)、左川佑璃(フルート)、古川真也(サクソフォン)、植田祐加里(ピアノ)

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

① 5月17日(金)〜5月22日(水) 「杉原孔子水彩画展—光と空気とやすらぎを求めて—」

【入館者数:1,489名】

② 5月28日(火)〜6月8日(土) 「仏像細密画・わら筆書展」

【入館者数:2,224名】

③ 8月3日(土)〜8月17日(土) 「第18回卑弥呼の時代を描こう絵画コンテスト優秀作品展」

【入館者数:2,052名】

④ 8月20日(火)〜25日(日) 「大阪伝統工芸 和泉蜻蛉玉」

【入館者数:1,076名】

⑤ 10月22日(火)〜11月10日(日) 「華麗なるエッグアート セントエッグの世界」

【入館者数:4,194名】

- ⑥ 11月13日(水)～11月23日(土祝)「畠山幸子染色展」 【入館者数：2,434名】
- ⑦ 11月26日(火)～11月30日(土)「第4回貫頭衣コンテスト入賞作品展」 【入館者数：922名】
- ⑧ 12月3日(火)～12月7日(土)「岡山県観光パネル展」 【入館者数：955名】
- ⑨ 12月3日(火)～12月23日(月祝)「岡山県観光パネル展関連ぬりえ展」 【応募者数：14名】
- ⑩ 2月4日(火)～28日(金)(16日(日)を除く)
「ふるさとの風景を受け継ぐー文化的景観・日根荘の風景ー」 【入館者数：2,380名】
- ⑪ 3月1日(土) ギャラリートーク「ふるさとの風景を受け継ぐー文化的景観・日根荘の風景ー」
泉佐野市教育委員会 東野直 【参加者数：21名】
フォーラム 【参加者数：85名】
「日根荘と日根荘大木の農村景観」 泉佐野市教育委員会 東野直明
「市の文化的景観を未来へ」 宇治市歴史まちづくり推進課 杉本 宏
「文化的景観を活かしたまちづくり」 京都大学大学院 神吉紀世子

(3) 第18回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで8月3日(土)から8月17日(土)まで展示した。 【入館者数：2,052名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、上田正克(元泉大津市立浜小学校校長)

- ① 応募期間：6月1日(土)～6月30日(日)
- ② 応募点数：278点
- ③ 表彰式：8月3日(土)

金賞「卑弥呼」小椋叶麗(堺市立北八下小学校6年)
金賞「むらの戦い」和田優貴(和泉市立鶴山台北小学校6年)
銀賞2点、銅賞2点、佳作10点、入賞48点

(4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、書庫整理。障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：139日 協力者数：288名】

4月「道具作り」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD(弓矢体験)」

【活動日数：14日 協力者数：33名】

5月「道具作り」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD(弥生米つき体験)」

【活動日数：11日 協力者数：26名】

6月「展示室巡回」、「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「石器を使ってみよう」、春展「とんぼ玉制作体験補助」

【活動日数：13日 協力者数：25名】

7月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD(鳥形紙ひこうきをつくろう)」、「講演会準備」、「春展とんぼ玉制作体験補助」

【活動日数：10日 協力者数：26名】

8月「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD(火おこし)」、「ワークショップ補助」、「道具作り」、「和泉蜻蛉玉体験補助」、「夏展WS(船のペーパークラフト作り)」

【活動日数：11日 協力者数：19名】

9月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD(土器に触れてみよう)」、「出前授業」、「夏展WS

- 船のペーパークラフト作り 【活動日数：15日 協力者数：20名】
- 10月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「ボランティア夏展・秋展特別解説」、「PR テッシュ配布準備作業」、「シール切り」、「出前授業」、「子どもFD（弥生の米つき体験）」
【活動日数：12日 協力者数：21名】
- 11月「出前授業」、「土器・銅鐸パズル」、「道具作り」、「子どもFD（石器を使ってみよう）」、「秋展WS
消しゴムと粘土でつくっちゃおう弥生人の顔」 【活動日数：9日 協力者数：18名】
- 12月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（火おこし）」、「花のしおりをつくろう」
【活動日数：7日 協力者数：17名】
- 1月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弓矢体験）」、「ボランティア冬展特別解説」、「団
体利用案内冊子組み、封筒詰め作業」 【活動日数：11日 協力者数：25名】
- 2月「土器・銅鐸パズル」、「道具づくり」、「子どもFD（土器に触れてみよう）」
【活動日数：11日 協力者数：22名】
- 3月「子どもFD（火おこし）」、「土器・銅鐸パズル」、「弥生フェスティバル体験補助」、「道具作り」
【活動日数：15日 協力者数：36名】

<ボランティア活動の内容>

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

5. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。 【入館者数：10,088名】

<堺市>南八下小学校、南八中学校、若松台小学校、西百舌鳥小学校、城山台小学校、新浅香山小学校、北八下小学校、土師小学校、神石小学校、金岡小学校、津久野小学校、竹城台東小学校、三国ヶ丘小学校、東三国ヶ丘小学校、浅香山小学校、福泉小学校放課後ルーム、福泉東小学校、市小学校、安井小学校、上野芝小学校、鳳小学校、深井小学校、東浅香山小学校、日置荘小学校、庭代台小学校、

<和泉市>国府小学校、光明台北小学校、光明台南小学校、信太小学校、幸小学校、芦部小学校、和気小学校、北松尾小学校、南松尾小学校、青葉はつが野小学校、黒鳥小学校、鶴山台南小学校、南横山小学校

<泉大津>上條小学校、条東小学校、旭小学校、浜小学校、穴師小学校、条南小学校、楠小学校

<高石市>羽衣小学校、清高小学校

<忠岡町>忠岡小学校、東忠岡小学校

<岸和田市>中央小学校、春木小学校、旭小学校、太田小学校

<貝塚市>二色小学校、北小学校、葛城小学校あゆみの丘分級、中央小学校

<泉佐野市>大木小学校、上之郷小学校

＜泉南市＞新家小学校

＜大阪市＞遠里小野小学校、生野小学校、生野南小学校、矢田北小学校、成育小学校、荊田北小学校、新平野西小学校、弁天小学校、小路小学校、泉尾小学校、栄小学校、喜連小学校、喜連西小学校、萩之茶屋小学校、佃小学校、深江小学校、玉出小学校、千本小学校、依羅小学校、桑津小学校、築港小学校、宝栄小学校、住吉小学校、今川小学校、上福島小学校、私立建国小学校

＜東大阪市＞弥刀東小学校

＜松原市＞天美南小学校

＜羽曳野市＞恵我之荘小学校、古市小学校

＜八尾市＞美園小学校

＜枚方市＞藤阪小学校

＜和歌山市＞大新小学校、名草小学校、藤戸台小学校、西佐和小学校、有功小学校

＜和歌山県橋本市＞柱本小学校、紀見小学校

＜和歌山県海南市＞大東小学校

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校

＜兵庫県西宮市＞仁川学院小学校

＜私立＞金剛学園小学校、かつやま子どもの村小学校

(2) 大学・高等学校、中学校等の見学受け入れ

小学校以外に大学、高等学校、中学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数：2,483名】

① 大学・高等学校・中学校等

熊取町立熊取南中学校、和泉市立信太中学校スキー部野外活動部、紀の川市立貴志川中学校美術部、専修大学、國學院大學研究室、登美丘高校教員、富秋中学校校区合同研修会、大阪大谷大学、大阪府立成美高等学校、大阪府立今宮高等学校、大阪府立堺聴覚支援学校、京都学園中学校、和泉市鶴山台第一・二保育園、和泉市国府第2保育園、芦部保育園、大阪府立千里青雲高等学校、大阪府立和泉支援学校中等部、桃山学院大学、奈良大学（上野ゼミ）、神戸女子大学、関西大学博物館、摂南大学、滋賀県立大学、大阪府立和泉総合高等学校、比治山大学

② その他団体

阪急交通社、金福文化財団、株式会社自然総研、ならコープ、奈良大学OB山陵会、年輪大学、楽雅喜会、さぬき市文化財保護協会、四條畷市立歴史民俗資料館、光明台2丁目婦人会、中央文化財研究院、西友歩会、デイサービスはんなり、和泉市消防本部予防課、グループホーム美樹の園、藤井寺市藤共同作業所、大阪府愛護推進委員会、障友会堺みなみ、クボタ堺久友会、八尾市教職員退職者の会、出雲国まほろばガイドの会、貝塚市人権政策課、打田史談会、大阪府高齢者大学歴史探訪科、みはま学園、W MCA学院、観光ボランティア協会、池上曾根学習館、泉州・紀北ミュージアムネットワーク総会、大阪府都市教育長協議会、特養グレース堺デイサービスセンター、かなえ会、第19回近畿ブロック埋蔵文化財研修会、泉州観光プロモーション、朝寿会、大阪府高齢者大学校自然文化を楽しむ会、大阪市青少年活動協会あいすおおさか、和歌山県母子健康づくり協議会、日根野地区福祉委員会、堺あすなる園、

和泉市校長会、日本セカンドライフ協会、枚方古文化同好会

(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月3日(水)	19校	【参加者：60名】
4月4日(木)	7校	【参加者：18名】
4月5日(金)	6校	【参加者：19名】

(4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。【利用者数：5,761名・72回】

(5) 資料貸出し

資料を貸し出し、授業の一助とした。

12月3日(火) NPO法人高齢者大学校：貫頭衣2着

(6) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

【実績：3,241名・98回】

<堺市>宮山台小学校、八上小学校、日置荘西小学校、熊野小学校、市小学校、深井小学校、三原台小学校

<泉大津市>戎小学校、楠小学校

<泉佐野市>佐野台小学校、長南小学校、大木小学校

<岬町>深日小学校

<大阪市>宮原小学校、福小学校、築港小学校、苅田南小学校、東中川小学校、栄小学校、大阪市阿倍野区阪南連合子ども会、榎並小学校

<枚方市>川越小学校

<豊中市>上野小学校

<八尾市>亀井小学校

<松原市>天美南小学校、松原小学校

<羽曳野市>白鳥小学校放課後子ども教室、丹比小学校、埴生南小学校、西浦小学校、西浦東小学校、古市南小学校

<河南町>白木小学校

<千早赤坂村>赤坂小学校

<枚方市>枚方第二小学校

<和歌山市>宮北小学校

<その他>大阪市シニア自然大学校鶴見風と緑の会

(7) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

① 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

7月24日(水)・25日(木) 奈良大学通信教育部学生 [29名]

7月30日(火)～8月3日(土) 博物館実習 [14大学・25名]

11月24日(日) 関西大学 博物館実習 [28名]

2月26日(水) 比治山大学 体験学習 [30名]

② 中学生・高校生の職場体験学習

中学生を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

7月6日(土)～9月1日(日) 大阪府立登美丘高校(2年生日本史B課題学習) [262名]

7月26日(金) 大阪府立登美丘高校BYツアー [16名]

8月21日(木) 大阪府立登美丘高校BYツアー [12名]

7月20日(土)～8月31日(土) 大阪府立富田林高校(1年生課題学習) [1名]

8月16日(金) 高校生のための博物館ツアー [7名]

11月6日(水)、7日(木)、13日(水)、14日(木) 和泉市立信太中学校 [9名]

11月20日(水)、21日(木) 忠岡町忠岡中学校 [5名]

1月30日(火)、1月31日(水) 高石市立高南中学校 [4名]

2月4日(火)～5日(水) 和泉市立郷荘中学校 [4名]

2月6日(火)～7日(水) 高石市立高石中学校 [5名]

2月25日(火) 和泉総合高校地歴部 [5名]

③ 教員等研修の受け入れ

教員等の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

8月7日(水)・8日(木) 大阪府高校教諭初任者研修 [4校・18名]

8月14日(水) 大阪府教育センター研修(カリナビ研修) [10校・13名]

8月16日(金) 高校教員セミナー [13校・17名]

8月23日(金) 小中教員セミナー [17校・18名]

④ 子ども一日館長 12月23日(月祝) 泉大津市立楠小2名 任命式、講演会挨拶、BYツアー [11名]

⑤ 弥生博小中学生フレッシュコンサート 1月25日(土)

泉大津市立条南小学校(音楽クラブ) 和泉市立郷荘中学校合唱部&演劇部 [140名]

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

① 大阪府立狭山池博物館 [入館者数：11,171名]

ア. 開催期間 4月27日(土)～5月26日(日)

イ. 内容 「弥生人のなりわい」

- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 【入館者数：13,981名】
 ア. 開催期間 4月1日(月)～3月31日(月)
 イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示
- ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 【入館者数：56,287名】
 ア. 開催期間 4月1日(月)～3月31日(月)
 イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示
- ④ 大阪府立中央図書館
 ア. 開催期間 9月10日(火)～9月29日(日)
 イ. 内 容 「卑弥呼御膳と卑弥呼の衣装」「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展」
- ⑤ 高石市立図書館 【入館者数：6,493名】
 ア. 開催期間 11月2日(土)～12月23日(月祝)
 イ. 内 容 「茅渟の海の生業」展：卑弥呼御膳
- ⑥ 堺市立泉北すえむら資料館 【入館者数：2,273名】
 ア. 開催期間 1月15日(水)～3月16日(日)
 イ. 内 容 「茅渟の海の生業」展

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

- ① 子育てコミュニティールーム コトコトステージ 【参加者数：13名】
 ア. 開催日 5月3日(金)
 イ. 内 容 「博物館へ行こう！親子おたのしみ銅鐸色塗り体験会」
 ウ. 連携先 西宮阪急百貨店
- ② ふれあいまつり2013 【参加者数：81名】
 ア. 開催日 5月5日(日)
 イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
 ウ. 連携先 池上曾根弥生学習館
- ③ 御堂筋 Kappo 2013 【参加者数：212名】
 ア. 開催日 5月12日(日)
 イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
- ④ きしわだ自然資料館出張WS 【参加者数：6名】
 ア. 開催日 6月16日(日)
 イ. 内 容 「鏡をつくろう」
 ウ. 連携先 きしわだ自然資料館
- ⑤ 子育てコミュニティールーム コトコトステージ 【参加者数：1,500名】
 ア. 開催日 8月10日(土)
 イ. 内 容 紙芝居「やよいちゃんのふくづくり」&織物体験
 ウ. 連携先 西宮阪急

⑥ 関西・考古学の日スタンプラリー

- ア. 開催日 9月1日(日)～10月31日(木)
イ. 内容 大阪府立弥生文化博物館スタンプの押印
ウ. 提携先 全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西・考古学の日」実行委員会

⑦ 大阪府愛護推進委員会研修

【参加者数：182名】

- ア. 開催日 9月6日(金)
イ. 内容 研修
ウ. 提携先 大阪府教育委員会文化財保護課

⑧ 卑弥呼優秀作品展

- ア. 開催日 9月10日(火)～9月30日(日)
イ. 内容 「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展」
ウ. 提携先 大阪府立中央図書館

⑨ 卑弥呼優秀作品展関連WS

- ア. 開催日 9月14日(土)・9月21日(土)
イ. 内容 土器・銅鐸パズル
ウ. 提携先 大阪府立中央図書館

⑩ まなぼスタジオ

- ア. 開催日 9月15日(日)
イ. 内容 「ハルカむかしふうにお便りしましょう！」
ウ. 提携先 あべのハルカス近鉄本店まなぼスタジオ本部

⑪ 兵庫県立考古博物館

- ア. 開催日 11月2日(土)
イ. 内容 古代体験秋まつり「銅鐸をつくろう」

【参加者数：25名】

⑫ 音★楽市

【参加者数：95名】

- ア. 開催日 9月29日(日)、11月2日(土)
イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 連携先 和泉市、和泉市文化財活性化推進実行委員会

⑬ いずみのJA農業まつり

【参加者数：130名】

- ア. 開催日 11月17日(日)
イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 JAいずみの

⑭ 2013和泉市歴史ウォーク

【参加者数：50名】

- ア. 開催日 11月23日(土祝)
イ. 内容 池上曾根遺跡発掘調査特別公開&博物館見学
ウ. 提携先 和泉市教育委員会

⑮ 高校生軽音フェスタ in 弥生の杜

【参加者数：91名】

- ア. 開催日 10月13日(土)、10月14日(日)

イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」

ウ. 提携先 和泉市、和泉市文化財活性化推進実行委員会

⑩ 「勉強ワクワク」フォーラム 【参加者数：213名】

ア. 開催日 1月23日(木)

イ. 内 容 実演ブース展示

ウ. 提携先 大阪府教育委員会地域教育振興課

(3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

① 高槻市立今城塚古代歴史館

4月13日(土) 今城塚古代歴史館春季特別展 三島弥生文化の黎明「新しい弥生像と集落」

当館副館長 秋山浩三

【参加者数：105名】

② 桃山学院大学「インテグレーション科目：図書館・博物館への誘い」

6月26日(水)「博物館の現実—考古学博物館の視点から—」

当館総括学芸員 塚本浩司

【参加者数：53名】

③ あべのハルカス近鉄本店なまぼスタジオ

7月6日(土)「縄文時代って？縄文土器の模様をつくってみよう」

【参加者数：15名】

7月21日(日)「つくる・まなぶ・あそぶ 江戸時代のこどもの遊び」

【参加者数：10名】

④ 関西大学なんども相談会

7月28日(日)「狩人きぶん」

【参加者数：871名】

⑤ 大阪府高齢者大学

8月1日(木)「池上曾根遺跡」 当館副館長 秋山浩三

【参加者数：67名】

1月15日(水)「古代から学ぶ① 古代の食を考える」 当館学芸員 柴田妃三光

【参加者数：45名】

⑥ 近鉄文化サロン阿倍野

8月29日(木)「考古学からみる古代の生活 古代の船」

【参加者数：63名】

当館総括学芸員 塚本浩司

12月19日(木)「考古学から見る古代の生活 死と再生のデザイン」

【参加者数：65名】

当館総括学芸員 中尾智行

2月20日(木)「考古学から見る古代の生活 産屋の風景」

【参加者数：56名】

当館館長 黒崎 直

3月20日(木)「考古学から見る古代の生活 性交合の考古学」

【参加者数：58名】

当館副館長 秋山浩三

⑦ かなえ会(市民交流センターすみよし北2013)

9月12日(木)「大阪府立弥生文化博物館が語る大阪の弥生時代」

【参加者数：26名】

当館副館長 秋山 浩三

⑧ 大阪府高圧ガス保安大会

10月27日(火)「日本古代のトイレ事情」

【参加者数：300名】

当館館長 黒崎 直

⑨ 計量史をつくる会

11月29日(金)「弥生分銅の発見とその意義」

【参加者数：60名】

当館総括学芸員 中尾智行

⑩ 出かける博物館講座

12月19日(木)「考古学から見る古代の生活 死と再生のデザイン」

【参加者数：65名】

当館総括学芸員 中尾智行

2月20日(木)「考古学から見る古代の生活 産屋の風景」

【参加者数：56名】

当館館長 黒崎 直

3月20日(木)「考古学から見る古代の生活 性交合の考古学」

【参加者数：58名】

当館副館長 秋山浩三

7. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップ等を行った。

① ゴールデンウィーク特別企画 Let's TRY

【参加者数 計439名】

5月3日(金祝)「犬の土形をつくろう」

【参加者数：60名】

「土器パズル・銅鐸パズル」

【参加者数：103名】

5月4日(土祝)「カブトをつくろう」

【参加者数：42名】

「あしあとをくらべてみよう」

【参加者数：27名】

5月5日(日祝)「こいのぼりをつくろう」

【参加者数：88名】

5月6日(月振)「犬の土人形をつくろう」

【参加者数：72名】

「弥生ツアー」

【参加者数：47名】

② 大阪伝統工芸 和泉蜻蛉玉

8月20日(土)「和泉蜻蛉玉でアクセサリーを作ろう！」

【参加者数：195名】

③ 夏休みイベント「弥生の日」 8月20日(火)、24日(土)、25日(日)

【参加者数計718名】

8月20日(火)「弥生クエスト！」

【参加者数：100名】

「アナタも弥生人！」

【参加者数：80名】

8月24日(土)「弥生クエスト！」

【参加者数：120名】

「アナタも弥生人！」

【参加者数：111名】

8月25日(日)「弥生クエスト！」

【参加者数：50名】

「アナタも弥生人！」

【参加者数：31名】

④ ミニギャラリーWS

10月25日(金)「エッグアートのリングケースを作りました」

【参加者数：12名】

⑤ 関西文化の日ワークショップ

11月16日(土)「竪穴住居をたてよう！」

【参加者数：50名】

「海渡くんをさがせ！」	【参加者数：56名】
「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：68名】
11月17日（日）「消しゴムと粘土でつくちゃおう弥生人のかお」	【参加者数：134名】
「竪穴住居をたてよう！」	【参加者数：101名】
「海渡くんはどこ！？」	【参加者数：163名】
「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：119名】
「棒はかりをつくろう」大阪府計量検定所との連携	【参加者数：51名】
「計量クイズ」大阪府計量検定所との連携	【参加者数：134名】
「家庭用計量器無料診断」大阪府計量検定所との連携	【参加者数：7名】
「健康器具体験」大阪府計量検定所との連携	【参加者数：45名】
⑥ 冬休みLet's TRY	
12月21日（土）「花のピリキャラトリオと写真を撮ろう！」	
「花のしおりをつくろう！」	【参加者数：85名】
「海渡くんをさがせ！」	【参加者数：65名】
「弥生家族と写真撮影」	
12月22日（日）「分銅消しゴムをつくろう！！」	【参加者数：138名】
「やあ！ヤァ！弓矢体験」	【参加者数：421名】
「土器・銅鐸パズルに挑戦！！」	【参加者数：68名】
「海渡くんをさがせ！」	【参加者数：106名】
「弥生家族と写真撮影」	
12月23日（月祝）「弥生の道具で貼り絵をしよう！！」	【参加者数：34名】
「土器・銅鐸パズルに挑戦！！」	【参加者数：45名】
「のぞいてみよう！博物館の宝べや！」	【2回・参加者数：59名】
「海渡くんをさがせ！」	【参加者数：81名】
「弥生家族と写真撮影」	
⑦ 館内体験	
8月10日（土）・8月24日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：124名】
9月14日（日）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：14名】
10月26日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：14名】
11月16日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：68名】
11月17日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：119名】
11月23日（土祝）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：6名】
12月14日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：14名】
12月21日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：45名】
1月11日（土）・1月25日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：3名】
2月8日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：15名】
2月22日（土）「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：2名】

- 3月22日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：14名】
- ⑧ ナイトミュージアム
- 3月8日(土) 映画「ナイトミュージアム」鑑賞&ナイトツアー 【参加者数：47名】
- ⑨ 弥生フェスティバル
- 3月25日(火)「化石のおはなしとレプリカづくり」 きしわだ自然資料館 【参加者数：48名】
「仮面消しゴムをつくろう」 【参加者数：151名】
「竪穴住居をたてよう」 【参加者数：105名】
「オリジナル布バックをつくろう」 【参加者数：63名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：57名】
「卑弥呼からの指令書」 【参加者数：331名】
「コダイくん&ロマンちゃんがやってきた」ー着ぐるみ登場ー
- 3月26日(水)「勾玉ペンダント勾玉ストラップづくり」 大阪府立近つ飛鳥博物館 【参加者数：68名】
「やあ！ヤァ！弓矢体験」 【参加者数：477名】
「弥生の道具ではり絵をしよう」 【参加者数：61名】
「見てみよう！博物館の宝べやツアー」 【参加者数：68名】
「海渡君はどこ？」 【参加者数：201名】
- 3月27日(木)「ガラス玉プレスレットづくり」 【参加者数：103名】
「花のしおりをつくろ」 【参加者数：170名】
「竪穴住居をつくろう」 【参加者数：76名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：60名】
「卑弥呼からの指令書」 【参加者数：319名】
「ハニワ皇帝がやってきた」ー着ぐるみ登場ー
「フルルがやってきた」ー着ぐるみ登場ー
- 3月28日(金)「やりたい放題！！むかしのアクセサリーづくり(ストロー管玉・組みもでミサンガ)」
泉南市立埋蔵文化財センター 【参加者数：301名】
「粘土 de 文様」 【参加者数：120名】
「見てみよう！博物館の宝べやツアー」 【参加者数：56名】
「火おこし体験」 【参加者数：149名】
「海渡君はどこ？」 【参加者数：384名】
- 3月29日(土)「風呂敷でペットボトルを包んでみよう」 小谷城郷土館 【参加者数：45名】
「ヒモの結び方あれこれ」 小谷城郷土館 【参加者数：178名】
「貝がら細工をつくってみよう！」 和歌山県立自然博物館 【参加者数：116名】
「オリジナルペーパークラフトをつくってみよう！」 和歌山県立自然博物館 【参加者数：291名】
「魚の骨格標本作成デモンストレーション」ー標本陳列ー和歌山県立自然博物館
「勾玉をつくろう！！」 【参加者数：133名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：53名】

「卑弥呼からの指令書」	【参加者数：272名】
「仮面消しゴムをつくろう」	【参加者数：119名】
「おづみんながやってきた」ー着ぐるみ登場ー	
3月30日（日）「オリジナル布バックをつくろう」	【参加者数：41名】
「海渡君はどこ？」	【参加者数：114名】
3月25日（火）～3月30日（日）「考古学屋台村」、「竪穴住居で写真撮影」	

(2) 子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古案！2013」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

5月18日（土）「弥生のこめつき体験」	【参加者数：30名】
8月17日（土）「火おこし」	【参加者数：25名】
9月21日（土）「土器に触れてみよう」	【参加者数：19名】
10月19日（土）「弥生の米つき体験」	【参加者数：16名】
11月16日（土）「石器を使ってみよう」	【参加者数：64名】
12月21日（土）「弥生の火おこし体験」	【参加者数：85名】
1月18日（土）「弥生の弓矢体験」	【参加者数：29名】
2月15日（土）「土器に触れてみよう」	【参加者数：9名】
3月15日（土）「火おこし体験」	【参加者数：17名】

8. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間	平成25年3月26日（火）～31日（日）6日間	【入館者数：5,515名】
イ. 入館料	無料	
ウ. イベント	前掲	

(2) 要覧の作成

『平成24年度弥生文化博物館要覧』（平成26年3月29日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語）を配布した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（8種）を用意し、ホームページからダウンロードできるようにして利用いただけるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート（7種）及びボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

また、今年度、初めてマンガによる当館の展示物紹介の解説シートを作成した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびブログによる情報提供を行った。【年間アクセス件数：276,671件】

また、当館の展示物、催しを紹介する四コマ漫画をホームページブログで情報提供した。

9. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。【資料7件・27点／写真59件・158点】

10. 研究事業

国内外の研究者との学術交流

- | | | |
|---|---|-----------------|
| ① | 5月10日（金）弘前大学人文学部文化財論講座日本考古学研究室 准教授 | 上條信彦 |
| | 弘前大学人文学部冷温帯遺跡資源活用プロジェクト 特任助教授 | 田中克典 |
| ② | 6月5日（金）中央文化財研究院 院長 | 趙詳紀 他16名 |
| ③ | 6月12日（水）中央文化財研究院 | 洪志潤 他12名 |
| ④ | 6月28日（金）東洋大 文化財発掘保存科学科 教授 | 金度憲 |
| ⑤ | 7月13日（土）秤乃館 館長 | 秤屋健蔵 |
| | 日本計量史学会 会長 | 内川恵三郎 |
| ⑥ | 7月19日（金）College of Art&Design SEOUL National University Of Science&Technology | Young Jun KO |
| | User Friendly Design Labo | Heung-Soon Youn |
| ⑦ | 7月23日（火）高麗大 考古環境研究所 研究教授 | 藤田憲司 |
| ⑧ | 8月9日（金）國學院大 文学部 教授 | 青木 豊 |
| ⑨ | 9月21日（土）名古屋大 大学院研究科 教授 | 古尾谷知浩 |
| ⑩ | 9月27日（金）国立民族学博物館総合研究大学院大 教授 | 印東道子 |

- | | |
|---|-------------|
| ⑪ 10月2日(水) 国士舘大学21世紀アジア学部グローバルアジア日本研究センター 教授 沢田正昭
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所 所長 | 西村 康 |
| ⑫ 10月10日(木) 東海大学文学部歴史学科考古学専攻 教授 | 北條芳隆 |
| ⑬ 10月19日(土) 三江文化財研究所
花園大学 教授 | 蘇培慶
高橋克壽 |
| ⑭ 11月16日(土) 国立歴史民俗博物館 名誉教授 | 春成秀爾 |
| ⑮ 11月24日(日) 京都橋大学文学部教授 | 一瀬和夫 |
| ⑯ 12月13日(金) 福岡大学文学部教授 | 武末純一 |
| ⑰ 12月14日(土) 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長 | 難波洋三 |
| ⑱ 2月23日(日) 島根県古代文化センター長 | 丹羽野裕 |

1.1. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

1.2. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイド(常設展示・特別展示)と英語版音声ガイド(常設展示)を用意し、無料で貸し出した。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ・ 第一展示室のプロジェクターランプユニットの導入
- ・ ホール事業(講演会等)のサロンへの情報提供のためのデジタルビデオカメラの購入
- ・ 屋上防水機能の充実のための屋上防水補修工事の実施
- ・ 第一展示室の卑弥呼の館映写カメラ台の補修
- ・ 防犯カメラ録画用ハードディスクの老朽化によるその取替え
- ・ ワークショップ用のミニ銅鐸中子の修理

1.3. 自主事業

ミュージアムショップの整備、オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

14. 入館者数及び入館料一覧表

区 分	入館者数 (名)			入館料 (円)	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	1,610	9,876	11,486	331,960	49 日間
割合%	9.6	22.3	18.8		
春季企画展示	580	8,878	9,458	138,180	28 日間
割合%	3.5	20.0	15.5		
春季企画展	4,120	5,403	9,523	1,254,520	62 日間
割合%	24.6	12.2	15.6		
夏季特別展	2,861	4,262	7,123	1,119,040	55 日間
割合%	17.1	9.6	11.7		
秋季特別展	3,767	12,613	16,380	1,295,100	55 日間
割合%	22.6	28.5	26.8		
冬季企画展	3,767	3,287	7,054	818,680	54 日間
割合%	22.6	7.4	11.6		
合 計	16,705	44,319	61,024	4,957,480	303 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 24 年度実績			57,614	3,956,580	305 日間
平成 23 年度実績			63,223	4,555,000	307 日間

(金額は税込額)

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」

【総入館者数 27,810 名・特展入館者数：10,132 名・展示室 178 名/日】

ア. 開催趣旨 大王墓と考えられる巨大古墳は、古墳時代の始まりである3世紀中葉以来、奈良盆地に築かれていましたが、前期末の4世紀後半以降には、大阪平野の百舌鳥・古市の地に築かれるようになります。大王墓の大阪への移動は、どのような背景によるものでしょうか。このことを考えるためには、百舌鳥・古市で大王墓が出現する前夜の様相を知ること、両古墳群が築かれる河内や和泉をはじめとする周辺地域の動態や、大和における大王墓のあり方、そして当時のヤマト王権がおかれていた国際的な状況を探ることが重要です。

今回の展覧会では、百舌鳥・古市古墳群における大王墓の出現がどのような背景によるのか、そして百舌鳥・古市古墳群を擁する地域やその周辺がどのような社会であったのかについて、考えたいと思います。

イ. 開催期間 平成25年4月27日(土)～6月30日(日) 【会期：57日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照

エ. 講演会等

春季特別展講演会

・5月12日(日)「崇神天皇陵から応神天皇陵へ」 水野正好氏(奈良大学名誉教授)【233名】

・5月26日(日)「歴史学からみた4・5世紀における“大王墓古墳群”移動の背景」

塚口義信氏(堺女子短期大学名誉学長)【318名】

・5月9日(日)「河内の4世紀史からみた政権交代」

岸本直文氏(大阪市立大学准教授)【253名】

・6月23日(日)「百舌鳥・古市古墳群出現前夜の畿内」 白石太一郎(当館館長)【388名】

シンポジウム

・6月2日(日)『古市古墳群出現前夜』 【268名】

「玉手山古墳群・松岡山古墳群の実像に迫る」

安村俊史氏(柏原市立歴史資料館)

「石川流域の前期古墳から見た古市古墳群出現前夜について」

河内一浩氏（羽曳野市教育委員会）

「古市古墳群の成立の契機—津堂城山古墳の被葬者をめぐって」

天野末喜氏（藤井寺市教育委員会）

討論司会／市村慎太郎（当館学芸員）

・6月16日（日）『百舌鳥古墳群出現前夜』 【235名】

「大津川流域における百舌鳥古墳群出現前夜の首長間関係」

三好 玄氏（大阪府教育委員会）

「久米田古墳群と摩湯山古墳」 南部裕樹氏（奈良文化財研究所）

「百舌鳥古墳群における大王墓出現前夜」 十河良和（堺市世界文化遺産推進室）

討論司会／森本 徹（当館学芸課長）

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

実施日：6月29日（月・祝）、5月3日（金・祝）、5月6日（月・振）、5月18日（土）、

6月15日（土）、6月29日（土） 【6回・計206名】

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. れきしウォーク 6月1日（土）「玉手山古墳群を歩く」 【72名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開会式 4月27日（土）地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

（2）夏季企画展「さまざまなお墓—墳墓のうつりかわり—」

【総入館者数13,514名・特展入館者数：4,504名・展示室87名／日】

ア. 開催趣旨 現代の墓地のなかには、古くから墳墓（お墓）が営まれているものがあり、発掘調査によって、縄文時代から近世までのたくさんの墳墓がみつかっています。これらを見ていくと、時代や地域によって、死者を葬る方法や場所、墳墓の作り方はさまざまであったことがわかります。

この企画展では、死者はどのように葬られてきたのか、墳墓がどこで、どのように造られたのか、墳墓は当時の人の目にどのように映ったのかといった問題をとりあげ、さまざまな墳墓を紹介し、そのあり方について考えたいと思います。

イ. 開催期間 平成25年7月20日（土）～9月16日（月・祝） 【会期：52日間】

ウ. 小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 小冊子の詳細は9（6）参照

エ. 講演会・体験学習

展示に即した講演会、報告会を実施。小・中学生を対象とした勾玉づくりなど体験学習を実施

した。

- ・8月4日(日)「近世の大名墓について」白石太一郎(当館館長) 【74名】
- ・8月25日(日)調査報告会「墳墓研究最前線！」 【101名】
西村 歩(当館副館長)・信田真美世・川瀬貴子(公益財団法人大阪府文化財センター)
- ・9月1日(日)「中世の墓地と石塔」
狭川真一氏((公財)元興寺文化財研究所研究部長) 【54名】
- ・9月15日(日)「中近世～近代の村落墓地－奈良盆地の郷墓を中心に」
白石太一郎(当館館長) 【85名】

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

実施日:7月28日(日)、8月3日(土)、8月31日(土)、9月7日(土) 【7回・計92名】

また、こどもむけに「怖くないお墓の話」と題した展示解説を実施した。

実施日:8月13日(火)、8月14日(水)、8月15日(木)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

(3) 秋季特別展「考古学からみた推古朝」

【総入館者数 20,605名・特展入館者数:7,532名・展示室132名/日】

ア. 開催趣旨 推古天皇の時代、難波より京に至る「大道」が設置されたとする記事を『日本書紀』は伝えます。本年はこの「大道」設置から1400年にあたります。

この時代は、遣隋使の派遣等により海外の文物が積極的に摂取され、また仏教の普及が進められ、政治体制や思想が大きく刷新された一大画期として知られています。その一方で、前方後円墳の築造が止み、大形方墳・円墳が営まれはじめるという重要な変化が生じています。さらに畿内地域において道路や池の造営などの大規模開発が次々と実施されたこともこの時代を特色付けます。まさに次代に成立する律令国家の礎が築かれた時代であったといえましょう。

本展覧会では、推古天皇や聖徳太子が活躍した時代に焦点を当て、政治・社会・文化など様々な側面における変化とその背景について、考古資料から考えます。

イ. 開催期間 平成25年10月5日(土)～12月8日(日) 【会期:57日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

秋季特別展講演会

- 10月13日(日)「推古朝の時代の仏教信仰と寺院建築」水野正好氏(奈良大学名誉教授) [191名]
- 10月27日(日)「推古朝の政治と外交」東野治之氏(奈良大学教授) [180名]
- 11月10日(日)「推古朝における古墳の様相」猪熊兼勝氏(京都橘大学名誉教授) [151名]
- 11月24日(日)「考古学からみた推古朝」白石太一郎(当館館長) [246名]

シンポジウム

- ・10月20日(日)『前方後円墳の終焉からみた推古朝』 [178名]
 - 「摂津・河内における前方後円墳の終焉」森本 徹(当館学芸課長)
 - 「大和における前方後円墳の終焉」千賀 久氏(葛城氏歴史博物館館長)
 - 「東国における前方後円墳の終焉」
 - 石島和夫氏(公益財団法人群馬県埋蔵文化財事業団理事)
 - 討論司会/白石太一郎(当館館長)
- ・11月17日(日)『推古朝の初期寺院を探る』 [133名]
 - 「河内における推古朝の寺院」上田 睦氏(藤井寺市教育委員会 課長代理)
 - 「摂津における推古朝の寺院」網 伸也氏(近畿大学准教授)
 - 「東アジアからみた推古朝の寺院」清水昭博氏(帝塚山大学准教授)
 - 討論司会/関本優美子(当館学芸員)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

実施日: 10月6日(日)、10月19日(土)、11月2日(土)、11月16日(土)、
11月30日(土)、12月7日(土) [6回・計122名]

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. れきしウォーク 特別展にそった館外での遺跡見学会を実施した。

11月4日(月・振)「大和飛鳥に推古朝を求めて」 [44名]

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR
やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ケ. 開会式 10月5日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

(4) 冬季特別展「歴史発掘 おおさか2013—大阪府発掘調査最新情報—」

【総入館者数 22,879名・特展入館者数: 5,121名・展示室 91名/日】

ア. 開催趣旨 大阪府には、旧石器時代から近代まで、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されています。こうした最新の発掘調査成果から遺跡を身近に感じとり、また、出土品を通して当時の生活や社会について探り、私たちの街、大阪の魅力を再発見していただきたいと思ひます。

今回、大阪府内の最新発掘調査の成果を府民に広く知ってもらう機会とし、大阪府をはじめ、市町村の協力により、大阪府内の埋蔵文化財の最新情報をご覧いただきたいと思います。

- イ. 開催期間 平成26年1月25日(土)～4月6日(日) 【会期：56日間】
ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照
エ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

冬季特別展講演会

- ・2月11日(火・祝)「津堂城山古墳が提起する問題」白石太一郎(当館館長) 【196名】
- ・2月23日(日)「輝く大阪古代史 一新発見文物の華」水野正好(奈良大学名誉教授)【98名】

冬季特別展調査報告会

- ・2月22日(土)【33名】
- ・3月16日(日)【43名】
- ・3月22日(土)【58名】

- オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。

1月26日(日)、2月9日(日)、2月16日(日)、3月9日(日)、3月21日(金・祝)

【5回・計57名】

- カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

- キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

3. 「市町村と連携する博物館」事業

(1) 連携展示事業

地元市町村を中心に大阪府内市町村教育委員会の共催・後援の協力を得た。また、冬季特別展では、展示品の情報、解説原稿、報告会の実施の協力を得た。

春季特別展 主催：本館、文化庁、朝日新聞社、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

夏季企画展 主催：本館、公益財団法人 元興寺文化財研究所

後援：堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

秋季特別展 主催：本館、産経新聞社

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、堺市、羽曳野市、
羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、百舌鳥・古市古墳
群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

冬季特別展 主催：本館

後援：太子町・太子町教育委員会、河南町・河南町教育委員会、近畿日本鉄道株
式会社

デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

(2) スポット展示

大阪府内における発掘調査最新成果の展示公開を当財団の協力を得て実施した。

【1回 24日・計 2,775名】

・3月4日(火)～4月6日(日)「難波宮跡出土 柱材の年代—新たな年代測定法の誕生」

【24日・2,775名・116名/日(平成25年度)】

(3) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報
を行った。

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 近つ飛鳥常設展示解説(入門講座)・土曜講座(オーサカ発 調査研究最前線)

「入門講座」は、昨年度に続き、常設展示の各コーナーに特化した解説を展示室にて行い、よ
り多くの来館者に参加していただく機会を作った。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る
機会として開催した。大阪府教育委員会、当財団、府内市町村と連携した事業。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』—常設展示解説—」

毎月第2土曜日を基本とし、常設展示室内の各コーナーにて当館学芸員が一般展示解説を行っ
た。目標通り計10回を実施した。 【10回・計162名】

- ・第65回 5月11日(土)「竪穴式石室の時代」ほか
- ・第66回 6月8日(土)「横穴室石室の世界」ほか
- ・第67回 7月13日(土)「埴輪の世界」
- ・第68回 8月10日(土)「古墳の終わりと墓」ほか
- ・第69回 9月14日(土)「一須賀古墳群を歩こう探ろう」
- ・第70回 10月12日(土)「大古墳の造営」
- ・第71回 11月9日(土)「開発と技術」ほか
- ・第72回 12月14日(土)「仏教文化の開花」ほか
- ・第73回 2月8日(土)「現代科学」ほか

- ・第74回 3月8日(土)「竪穴式石室の時代」ほか

イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、目標通り計10回を実施した。

【10回・計314名】

- ・第55回 5月25日(土)「古墳時代前期の腕輪形石製品」 関本優美子(当館学芸員)
- ・第56回 6月22日(土)「百舌鳥・古市古墳群出現前夜の土師器」
市村慎太郎(当館学芸員)
- ・第57回 7月27日(土)「諸目遺跡」 河本純一氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
- ・第58回 8月24日(土)「夏季企画展をもっと知るには!」 鈴 千夏(当館学芸員)
- ・第59回 9月28日(土)「高槻市成合遺跡の発掘調査」
笹栗 拓氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
- ・第60回 10月26日(土)「方墳・円墳・八角墳」 関本優美子(当館学芸員)
- ・第61回 11月23日(土)「大規模開発からみた推古朝」 飯田浩光(当館学芸員)
- ・第62回 1月25日(土)「古墳時代の港と王権」 森本 徹(当館学芸員)
- ・第63回 2月22日(土)「冬季特別展調査報告会①」
島崎久恵氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
清水邦彦氏(茨木市立文化財資料館)
濱田延充氏(寝屋川市教育委員会)
- ・第64回 3月22日(土)「冬季特別展調査報告会③」
坪田真一氏(公益財団法人八尾市文化財調査研究会)
井戸竜太氏(公益財団法人枚方市文化財研究調査会)
石田成年氏(柏原市教育委員会)

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(木・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【629名】

(3) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、黄泉の塔をバックに地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

- ・4月29日(月・祝) 藤井寺工科高校・阪南大学高校・初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・藤井寺高校・金剛高校・河南高校・上宮太子高校 【9校・550名】
- ・11月3日(日) 藤井寺工科高校・藤井寺高校・阪南大学高校・初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・金剛高校 【7校・310名】

(4) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。従来、小中学生およびその保護者を対象としていたが、今年度より成人のみの参加も受け付けることとした。

- ・5月4日(土・祝) 【36名】
- ・7月21日(日) 【23名】
- ・8月4日(日) 【14名】
- ・8月11日(日) 【15名】
- ・8月17日(土) 【19名】
- ・12月1日(日) 【14名】
- ・12月15日(日) 【5名】

(5) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

- ・5月5日(日・祝) 【27名】

(6) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。 【16回・計：92,456名】

- ・4月26日(金)～5月14日(火)「第5回ふるさと俳画展」
- ・5月18日(土)～6月16日(日)「作品展・第3回 To You 通友2013」
- ・6月18日(火)～6月23日(日)「第14回 全日本写真連盟かなん支部写真展」
- ・6月29日(土)～7月31日(水)「PECHU 十年の歴史展」
- ・8月3日(土)～9月1日(日)「2013年夏休み 児童はにわ展」(8月4日表彰式)
- ・9月6日(金)～9月22日(日)「写真展 想いのままに…」
- ・9月25日(水)～10月6日(日)「難波から飛鳥を結ぶ古代道路」
- ・10月8日(火)～10月20日(日)「卵テンペラで描いた昆虫標本展」

・10月22日(火)～11月16日(土)「三田崇博 世界遺産写真展」

North America 2013 ラストフロンティア」

・11月19日(火)～11月24日(日)「MOA 美術館南河内児童作品展」

・11月26日(火)～12月8日(日)「よつばの会 油画作品展」

・1月18日(土)～1月31日(金)「ふるさと太子再発見絵画コンクール」作品展

・2月4日(火)～2月16日(日)「花形書道展」

・2月20日(木)～3月2日(日)「ささゆりの会 日本画展」

・3月6日(木)～3月16日(日)「飛鳥の土で遊ぼう！」作品展

・3月21日(金・祝)～4月13日(日)「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展

(7) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・春季特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・入門講座・土曜講座・講演会・河内飛鳥れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。【登録24名・協力延べ人数118名】

(8) その他の事業

ア. 開館20周年事業の実施

3月25日(火)に開館20周年を迎えることを記念して、講演会、「ハニワこうてい」の来館、ポスター展を開催するとともに、博物館近隣の住民を対象に地域感謝デーを設け、展示室観覧無料、記念品の贈呈などを行った。

記念講演会

3月23日(日)

【166名】

「近つ飛鳥博物館の誕生と一須賀古墳群」水野正好氏(奈良大学名誉教授)

「ヤマト王権と摂津・河内・和泉」白石太一郎(当館館長)

ポスター展

「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展 【9日間・6,115名(平成25年度)】

会期:3月21日(金・祝)～4月13日(日)

イ. うめまつりの開催

2月28日(金)～3月2日(日)実施。講演会などを開催。

講演会

3月1日(土)

【354名】

「近つ飛鳥を梅いっぱい」安藤忠雄氏

3月2日(日)

【120名】

「梅鉢の御陵(磯長谷古墳群)を考える」白石太一郎(当館館長)

ウ. さくらまつりの開催

3月29日(土)～3月30日(日)実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【143名】、古代衣裳着用体験【186名】などを実施。

エ. 講演会「近つ飛鳥を梅いっぱい」の開催

3月1日(土)近つ飛鳥梅いっぱい委員会主催、安藤忠雄氏講演会を本館ホールを会場に開催した。【354名】

オ. 講演会「新たな年代測定法の誕生」の開催

3月15日(土)スポット展示関連事業として講演会を開催した。【66名】

「新たな年代測定法の誕生一年輪セルロース酸素同位体比による年代測定」

中塚 武氏(総合地球環境学研究所 教授)

「難波宮跡北辺部の調査-10年目の氷解」

江浦 洋氏(公益財団法人大阪府文化財センター)

5. 「博物館 in school」事業-博学連携事業

(1) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で制作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

小・中学校【19件・1,557名】 高校・大学【8件・338名】

(2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促す近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

(3) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。【16,260枚】

(4) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の

場とした。

【16件・計397名】

- 5月14日(火) 奈良大学 文学部 文化財学科 植野研究室 研修
- 6月1日(土) 大阪大谷大学 文化財学科 研修
- 7月16日(火) 大阪芸術大学 放送学科 中継実習
- 7月17日(水) 大阪産業大学人間環境学部文化コミュニケーション学科 多様な文化が伝播された古代の成り立ち
- 7月23日(火) 大阪府立金剛高校「職業人インタビュー」
- 7月24・25日(水・木) 大阪府立今宮高校 夏季集中講座「考古学入門」1
- 7月26日(金) 奈良大学 通信教育部 博物館実習受入れ
- 8月10日(土) 専修大学(東京) 考古学ゼミ
- 10月3日(木) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科、緑地環境学科 近つ飛鳥風土記の丘 樹木実習
- 10月6日(日) 奈良大学 通信教育講座
- 10月14日(日) 奈良大学 通信教育講座
- 10月17日(木) 和光高校(埼玉) 考古学実修
- 11月3日(土) 大阪教育大学 現地講義
- 12月1日(日) 大手前大学 博物館実習
- 2月15日(土) 大阪教育大学 わくわくアートの時間
- 2月27日(木) 比治山大学 日本語文化研修

(5) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。

【6件・計35名】

- 11月6日(水)～8日(金) 太子町立中学校 職業体験
- 11月7日(木)～8日(金) 富田林市立喜志中学校 職業体験
- 11月12日(水)～13日(木) 富田林市立第三中学校 職業体験
- 11月12日(火) 河南中学校 職業体験
- 12月3日(火)～3日(水) 富田林市立第一中学校 職業体験
- 2月6日(木)～7日(金) 河内長野市立千代田中学校 職業体験

(6) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。

【2件・計12名】

7月30(月)～31日(火) 教職員新任研修

8月23日(金) 教職員自主研修

(7) 一日館長の選定

8月4日実施。地元住民、特に児童に対して、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。河南町立近つ飛鳥小学校6年生徒2名が就任。白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事した。

(8) 地元大学との連携

大阪芸術大学のポスターデザイン作品発表の場として博物館を活用してもらった。
冬季特別展ポスター・チラシ・リーフレットは大阪芸術大学芸術学部デザイン学科3回生が制作した。

(9) 2013 夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った11校の埴輪づくりの作品展を実施した(8月3日～9月1日)。8月4日に表彰式を行い、優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を贈呈した。 【7,267名】

6. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、単独の古墳めぐりを新設。

- ・ 6月1日(土)「玉手山古墳群を歩く」 【参加人数：72名】
- ・ 11月4日(月・祝)「大和飛鳥に推古朝を求めて」 【参加人数：44名】
- ・ 12月15日(日)「淡輪の古墳をめぐる」 【参加人数：18名】
- ・ 3月9日(日)「茨木西部の古墳をめぐる」 【参加人数：28名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座(当館学芸員)

- 5月12日(日) 枚方市立樟葉生涯学習市民センター 枚方古代史友会5月研修会
「群集墳の出現と渡来人」森本 徹 [25名]
- 6月1日(土) 八尾市立しおんじやま古墳学習館 しおんじやま学び場
「群集墳と古墳時代の終焉」森本 徹 [26名]
- 7月6日(土) 本の学校(米子市) むきばんだ弥生塾
「弥生水田から古墳時代の始まりを考える」森本 徹 [40名]
- 8月8日(木) 大阪市立市民交流センターすみよし北
「近つ飛鳥博物館が語る大阪の古墳時代」市村慎太郎 [23名]
- 8月9日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「古墳時代の喪葬儀礼」森本 徹 [63名]
- 8月23日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「火葬墓の出現と高松塚古墳」森本 徹 [63名]
- 11月19日(火) まちライブラリー@大阪府立大学 ライブラリーカフェ
「博物館へ行こう」森本 徹 [10名]
- 11月23日(土) 飛鳥の宿 祝戸荘
「近つ飛鳥の後・終末期古墳ヤマト王権」森本 徹 [23名]
- 1月13日(月・祝) 弥生文化博物館
「泉州における古墳文化の受容」西村 歩 [201名]
- ②出張ワークショップ(公的機関・組織) [12団体・計931名]
- 5月12日(日) 御堂筋 kappo2013 「古代衣裳着用体験」
- 8月6日(火) 史遊会 夏休みこども博物館 PART II 「はにわ作り」
- 8月10日(土) 羽曳野市立生活文化情報センターこども考古学講座「4コマ古墳時代劇場」
- 8月11日(日) 羽曳野市立生活文化情報センターこども考古学講座「4コマ古墳時代劇場」
- 9月13日(金) 大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA 古代衣裳着用体験
- 10月6日(日) 大宝まつり(地元自治会) 勾玉づくり
- 10月26日(土) 「島本町放課後こども教室」勾玉づくり
- 11月2日(土) 兵庫県立考古博物館「古代体験まつり」
三角縁神獣鏡のペンダントやキーホルダーをつくろう
- 12月22日(日) シティプラザ大阪 「古代衣裳体験」
- 12月23日(月) 勾玉づくり体験イベント in ビックバン
- 2月9日(日) 島本町人権文化センター「勾玉づくり」
- 3月15日(土) せんなんカンヴァス 古代衣裳体験コーナー
- 3月26日(水) 弥生フェスティバル「マーブリング勾玉をつくろう」

③出張ワークショップ（民間）

5月6日（月）西宮阪急 コトコトステージ「勾玉づくり」	【3名】
8月12日（月）阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」	【22名】
8月17日（土）アベノ近鉄「ハニワ貯金箱をつくろう」	【48名】
8月18日（日）アベノ近鉄「ハニワ貯金箱をつくろう」	【49名】

④でかける博物館講演会 in りそな銀行本店 【510名】

9月8日（日）『大阪が古代史で果たした役割を考える ー推古二十一年難波～飛鳥間大道設置 1400年にちなんで』 「難波から大和への古道」和田 萃氏（京都教育大学名誉教授） 「国土開発の時代ー推古朝の再評価ー」白石太一郎（当館館長） 討論「難波～飛鳥間大道設置の歴史的意味」 司会：笠井敏光氏（大阪国際大学教授）

⑤でかける博物館講座『考古学からみる古代の生活』（近鉄文化サロン共催）

6月20日（木）「渡来人の生活文化と王権」森本 徹（当館総括学芸員）	【56名】
9月19日（木）「古墳時代の家族ー古墳合奏例から考えるー」白石太一郎（当館館長）	【78名】
11月21日（木）「邪馬台国時代の土器」西村 歩（当館副館長）	【59名】
1月16日（木）「信仰と生活ー古墳時代の神まつりを中心にー」飯田浩光（当館学芸員）	【64名】

（3）出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。 【3件・計56,400名】

4月27日（土）～5月26日（日）大阪府立狭山池博物館「一須賀古墳群と近つ飛鳥博物館」	【12,010名】
6月4日（火）～6月30日（日）大阪府立中央図書館「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録をめざして」	【43,923名】
11月23日（土）大阪府文化財センター 大坂城跡発掘調査現地説明会	【467名】

（4）地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

10月6日（日）大宝まつり（勾玉講習会）	【100名】
10月19日（土）太子町時代まつり	【5,200名】
10月27日（日）ぐるっとまつばら健康ウォーク	【900名】

(5) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

外部からの不正アクセスのため、7月～12月の間、サイトを閉鎖したが、セキュリティー対策を施し、1月より再開した。

再開後のアクセス数は2月5,978件、3月8,718件で、順調にのびている。

【HP更新74回】

7. 「体験する博物館」事業

(1) 校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れ、展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。

【47校・2,777名】

(2) 子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

・8月18日（日）

【170名】

(3) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

・7月28日（日） 【48名】

・8月3日（日） 【68名】

・8月16日（金） 【76名】

・8月25日（日） 【72名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

・5月3日（金・祝）古墳時代まつり 当館

【78名】

・5月5日（日）当館

【41名】

- ・ 5月12日(日) 御堂筋かつぼ 2013 百舌鳥古市古墳群世界文化遺産登録推進協議会議 連携
【152名】
- ・ 8月10日(土) 羽曳野市立生活文化情報センター 【6名】
- ・ 8月11日(日) 羽曳野市立生活文化情報センター 【17名】
- ・ 9月13日(金) 大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA 【45名】
- ・ 10月19日(土) 太子町「時代まつり」
- ・ 10月27日(日) 「ぐるっとまつばら健康ウォーク」
- ・ 12月7日(土) 当館 【13名】
- ・ 12月22日(日) シティプラザ大阪 【19名】
- ・ 2月1日(土) 当館 【34名】
- ・ 3月15日(土) せんなんキャンパス 古代衣裳体験コーナー 【51名】
- ・ 3月29日(土) 当館 【138名】
- ・ 3月30日(日) 当館 【48名】

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものの製作や、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作指導を実施した。 【12回・481名】

- ・ 4月20日(土) 中国のお面作り
- ・ 5月18日(土) 変身コマ
- ・ 6月15日(土) 卵パックで七夕飾り
- ・ 7月20日(土) 夢のホーパークラフト
- ・ 8月18日(日) 夏休みこども工作室
- ・ 9月21日(土) オープンレンジで勾玉づくり
- ・ 10月19日(土) コロコロ転がし
- ・ 11月16日(土) 森のサンタクロース
- ・ 12月21日(土) 飛行機をつくって大空へ飛ばそう
- ・ 1月18日(土) プラバン遊び
- ・ 2月15日(土) 飛鳥の土であそぼう
- ・ 3月15日(土) カタカタ忍者

8. 企業との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。またりそな銀行本店より会場をお借りして講演会を実施した。

5 (2) ④参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

11月26日(火)～28日(木) 国際交流サービス 北部九州考古の旅 【42名】

9. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol. 39 9月30日発行 4000部

博物館だより Vol. 40 3月31日発行 4000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。下記(6)参照。

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供22回・新聞雑誌広報等掲載回数181回】

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載など、より効果的な広報活動を展開した。

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。また、館報は研究論文等を掲載しているところから、有償配布も実施した。

- ・「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」大阪府立近つ飛鳥博物館図録 60
4月27日発行 1200円(960円※割引販売)
【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数1,385(38)冊(平成25年度)】
※販売数は定価販売・割引販売の合算、()内は割引販売数。以下同。
- ・「遺跡が語る墳墓の歴史」7月20日発行 200円
【広報1,400冊・販売600冊・販売数432(0)冊(平成25年度)】
- ・「考古学からみた日本の古代国家と古代文化」展示ガイドブック
9月30日発行 800円(640円)
【広報1,000冊・販売3,000冊・販売数547(32)冊(平成25年度)】
- ・「考古学からみた推古朝」大阪府立近つ飛鳥博物館図録 61
10月5日発行 1200円(960円)
【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数972(23)冊(平成25年度)】
- ・『歴史発掘おおさか2013』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 62
1月25日発行 600円(480円)
【広報1,000冊・販売700冊・販売数203(6)冊(平成25年度)】
- ・『大阪府立近つ飛鳥博物館 館報17』12月31日発行 500円
【広報800冊・販売200冊】

10. 研究事業

(1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動も努めた。

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者 【13名】

韓国研究者 【3名】

(3) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座において、研究成果を掲載し、発表した。

(4) 客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員2名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、講演会事業などでの助力を得た。

1.1. 資料調査収集製作事業

(1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

1.2. サービス事業

(1) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日(4月30日)と8月の盆休暇中の月曜日(8月12日)を臨時開館して利用者への便宜を図った。

(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

(3) 博物館グッズの販売、開発

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売、オリジナルグッズの開発に努めた。

(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対する対応マナーの研修(公共サービス窓口における配慮マニュアル(内閣府障害者施策推進本部発行)に準拠)を実施した。

(5) 設備の更新

空調の間欠運転により、省エネに対処した。

空調設備 AUC-5 系統冷水弁取替修理を行った。

正面・屋上自動扉開閉装置取替修理を行った。

消化ポンプ吸水槽取替工事を行った。

省エネ対応空調機制御機器の交換を行った。

13. 入館者数及び入館料一覧

(平成25年度)

区分	入館者数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展	2,371	1,088	3,459	14,442	17,901	598,740	83
割合 (%)	14.1	7.8	11.2	20.1	17.4	9.6	
春季特別展 (4・27～6・30) 百舌鳥・古市古墳群出現前夜	5,456	4,676	10,132	17,678	27,810	2,273,460	57
割合 (%)	32.5	33.5	33.0	24.6	27.1	36.3	
夏季企画展 (7・20～9・16) さまざまなお墓	2,666	1,838	4,504	9,010	13,514	844,560	52
割合 (%)	15.9	13.2	14.6	12.5	13.2	13.5	
秋季特別展 (10・5～12・8) 考古学からみた推古朝	3,972	3,560	7,532	13,073	20,605	1,648,760	57
割合 (%)	23.7	25.5	24.5	18.2	20.1	26.3	
冬季特別展 (1・25～4・6) 歴史発掘おおさか2013	2,322	2,799	5,121	17,758	22,879	898,720	56
割合 (%)	13.8	20.0	16.7	24.7	22.3	14.3	
合計	16,787	13,961	30,748	71,961	102,709	6,264,240	305
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成24年度実績	16,637	18,099	34,736	81,687	116,423	5,973,240	305
平成23年度実績	17,651	14,625	32,276	67,171	99,447	6,467,360	304
平成22年度実績	20,262	14,908	35,170	68,432	103,602	7,172,400	306

VI 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア
国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家
国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家
大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉
未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵
その他 = 戦国期の五輪塔、地藏を展示公開している。
また、「セミナーハウス」を設置している。
- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア
大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家
大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台
未指定 = 北河内の茶室、剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。
- ③ 「むかしのくらし展示」
稲作に関係する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和 30 年代の一部屋を再現している。石臼体験コーナーを併設。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

① 「春のてまり展」

ア. 開催概要

日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 平成 25 年 4 月 7 日(日)～4 月 21 日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

② 「民家集落ペン画展」

ア. 開催概要

当館の民家を描いたペン画作品展。ペン画の技法についても紹介した。

イ. 開催期間 平成 25 年 5 月 11 日(土)～5 月 25 日(土)

平成 26 年 2 月 15 日(土)～3 月 2 日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

③ 「紙すき工房どんぶり作品展」

ア. 開催概要

障がい者と支援グループによる絵画と書の作品を展示した。

ロ. 開催期間 平成25年8月24日(土)～9月6日(金)

ウ. 場 所 南部の曲家

④「能・狂言面展」

ア. 開催概要

「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ. 開催期間 平成25年11月9日(土)～11月24日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

⑤「游心会展」

ア. 開催概要

「游心会」会員による書道作品を展示した。

イ. 開催期間 平成25年11月23日(土)～12月1日(日)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、大和十津川の民家

⑥「現代に生きる刀剣彫刻と彫金展」

ア. 開催概要

美術刀剣彫刻と刀装具の製作者岩崎範光氏の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成26年3月8日(土)～3月23日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

(3) 文化庁補助事業に関わる展示

①「親子書道教室 作品展」

ア. 開催概要

「みんな伝統文化体験教室」の親子書道教室参加者の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成26年3月9日(日)～3月16日(日)

ウ. 場 所 セミナーハウス

②「子ども絵画教室 作品展」

ア. 開催概要

「みんな子ども絵画教室」参加者の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成26年3月2日(日)～3月9日(日)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

(4) 企画展示

①「茅葺き民家とその風景写真展」

ア. 開催概要

全国の茅葺き民家集落と茅葺き屋根のたたずまいを写真で紹介した。

イ. 開催期間 平成25年9月21日(土)～10月20日(日)

ウ. 場 所 セミナーハウス

②「椎葉の神楽面展」

ア. 開催概要

椎葉村在住の彫師が製作した椎葉神楽で使われる面の展示を行った。

イ. 開催期間 平成25年11月2日(土)～12月8日(日)

ウ. 場 所 セミナーハウス

2. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月17日(水)～ 5月19日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(水)～ 5月6日(月・祝)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：6月30日(土) かざり：7月2日(火) ～7月7日(日)	大和十津川の民家 縁側	体験参加者 10名
お盆飾り	8月13日(火)～ 8月16日(金)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	9月18日(水)～ 9月23日(月・祝)	大和十津川の民家	
正月飾り	1月5日(日)～ 1月19日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月12日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 98食
桃の節句・雛飾り	2月15日(土)～ 3月16日(日)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	4月14日(日)・21日(日)	館内竹林	博物館スタッフ 151名

むかしの遊び(万華鏡、折り紙、コマ作り、竹馬)	5月3日(金)・4日(土・祝)・5日(日・祝)	館内広場 飛騨白川の民家 日向椎葉の民家	竹山慶次 他 約200名
子ども民家探検	7月27日(土)	堂島の米蔵他	博物館スタッフ 3名
養蚕体験糸つむぎ	8月25日(日)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 15名
紙すき体験	8月24日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり 25名
はたおり体験	11月8(金)・9(土)・10(日)	南部の曲家	かるがも広場 30名
みんなの餅つき	2月2日(日)	日向椎葉の 民家前	紅山多喜子 他 50名
土のクレヨン作り	3月23(日)	南部の曲家	c i s e 40名
コマ遊び	4月6日～7月6日・9月7日～12月7日・2月22日～3月29日の各土曜日31回実施	日向椎葉の 民家前広場	川島正雄 他 827名
石臼体験	4月7日～6月23日・9月1日～12月15日・1月19日～3月16日の各日曜日29回実施	石臼コーナー	大坪 章 他 351名
わらぞうり作り	6月2日・16日・10月20・27日・11月20・27日・3月9・23日の各日曜日8回実施	南部の曲家他	山本捷子 他 各回5名 約40名

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。

文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

① 心に届く童話

ア.内容 朗読企画「でくの工房」による童話と詩の朗読。

イ.実施日 5月25日(土)・6月16日(日)

ウ.場所 日向椎葉の民家

② フォークコンサート

- ア.内 容 フォークソング愛好会「バガボنز」による演奏会。
イ.実施日 4月28日(日)、10月13日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ③ みんか朗読会
ア.内 容 「グループ雲」による昔話や時代物の朗読会。
イ.実施日 4月21日(土)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ④ 弦楽四重奏コンサート
ア.内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。
イ.実施日 4月14日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑤ 尺八・二胡・オカリナ演奏会
ア.内 容 「庄内オリーブクラブ」による演奏会。
イ.実施日 5月6日(月・祝)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑥ コカリナ演奏&民話
ア.内 容 「やまびこ」と「観覧車」によるコカリナ演奏と語り。
イ.実施日 5月18日(土)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑦ むかし話を聞きましょう
ア.内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。
イ.実施日 6月9日(日)・11月9日(土)・3月22日(土)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑧ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～
ア.内 容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。
イ.実施日 9月22日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑨ 落語で笑ろうて民家
ア.内 容 「大阪百楽の会」による落語会。
イ.実施日 10月5日(土)
ウ.場 所 大和十津川の民家
- ⑩ こみんか・ゆるりカフェ
ア.内 容 能勢の民家を会場にしての一日 cafe。
イ.実施日 10月14日(月・祝)、11月4日(月・祝)
ウ.場 所 摂津能勢の民家
- ⑪ お茶会
ア.内 容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。

イ.実施日 4月6日(土)、20日、5月4日、18日、6月1日、15日、
7月6日、20日、9月7日、21日、10月5日、19日、
11月2日、23日、12月7日、21日、1月25日、
2月22日、3月29日 計19回

ウ.場 所 北河内の茶室

⑫ その他有料貸部屋利用

ア.内 容 民家の貸部屋を行い、俳句会、撮影会等の目的での利用を
促した。年間利用件数95件。(利用料収入616,000円)

イ.場 所 大和十津川の民家他

(4) 特別企画事業

① 「民家再生・移築相談会&左官体験教室」

ア.内 容 日本民家再生協会近畿地区と連携し、当館セミナーハウス
及びその周辺を会場に、民家の再生・移築に関する相談会
等を開催した。

(参加者数 56名)

イ.実施日 6月22日(土)~23日(日)

② 「文楽ミニ公演」

ア.内 容 日向椎葉の民家を会場に、文楽のミニ公演を公益財団法人
文楽協会との共催で開催。演目は「伊達娘恋緋鹿子」。太
夫、三味線、人形の三業の役割もわかりやすく解説された。

(参加者数 123名)

イ.実施日 7月10日(水)

③ 「民家集落わくわくワークまつり」

ア.内 容 「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPR
するため、ワークショップ、茅屋根葺き体験、民家のふる
さと物産展、模擬店、アカペラコンサート等を実施した。

(当日入館者数 621名)

イ.実施日 10月26日(土)

④ 春の敬老フェア&民家で甘酒

ア.内 容 毎月15日に実施しているアクティブシニアの日(65歳以上
入館料半額)を3日間に拡大するとともに、ボランティアの
協力を得て、越前敦賀の民家の囲炉裏端で甘酒のサービス
を行った。(期間中シニア入館者79名、甘酒配布数130)

イ.実施日 平成26年3月14日(金)~3月16日(日)

(甘酒の提供は15、16日のみ実施)

3. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

②民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年（毎週火曜日午後）

ウ.場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

ア.内 容 41名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(3) 連続講座

「民家集落セミナー」と題して、民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

第一回 「日本の住まいに記憶されたオクの観念」

講 師：森 隆男（関西大学教授）

開催日：平成25年5月12日（日）

第二回 「那覇の農連市場と世界のマーケット」

講 師：瀧端真理子（追手門学院大学教授）

開催日：平成25年5月19日（日）

第三回 「民俗学からみた『あの世』とは」

講 師：鳥越皓之（早稲田大学教授）

開催日：平成25年6月1日（土）

第四回 「日本の中の京町家」

講 師：大場 修（京都府立大学教授）

開催日：平成25年6月15日（土）

第五回 「ドイツの民家と町並み」

講 師：杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）

開催日：平成25年6月30日（日）

(4) 関連講座

「椎葉神楽」公演、企画展「椎葉の神楽面」と関連の講座を開催した。

「椎葉村の民俗」

講 師：野本寛一(近畿大学名誉教授)

開催日：平成25年11月2日(土)

(5) 民俗芸能公演 「椎葉神楽」

ア.内 容 企画展「椎葉の神楽面」に関連し、宮崎県椎葉村に江戸時代から伝わる「椎葉神楽」(国指定重要無形民俗文化財)の公演を行った。

出 演/椎葉村尾前神楽保存会

イ.開催日 平成25年11月16日(土)～17日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

エ.観覧者 5公演489名

(6) グリーンロハスフェスタ

ア.内 容 服部緑地5月祭事業に参加し、「グリーンロハスフェスタ」のワークショップブースに出展し、コマ作り・コマ遊びワークショップを実施した。

イ.開催日 平成25年5月26日(日)

ウ.場 所 服部緑地西中央広場

(7) 北大阪ミュージアムメッセ

ア.内 容 北大阪ミュージアムネットワークの会員として、みんなくで開催された北大阪ミュージアムメッセに参加し、パネル展示等を通して博物館の紹介に努めた。

イ.開催日 平成25年11月3日(日)～4日(月)

ウ.場 所 国立民族学博物館

(8) 大学連携ワークショップ

ア.内 容 関西大学文学部森隆男研究会と連携して、十津川の民家、能勢の民家の食生活に関するワークショップを「どんぐりキッチン」「まるかじり能勢のくらし」「ぼたもち作る!かきもち食べよ!」と題して実施した。

イ.開催日 平成25年10月20日(日)、平成26年1月26日(日)、3月23日(日)

ウ.場 所 大和十津川の民家、摂津能勢の民家

(9) ジュニア自然大学「こどもゆめくらぶ」

ア.内 容 NPO法人シニア自然大学校が主催するジュニア自然大学を当館を会場に開講し、子どもたちに自然環境学習の場を提供した。

イ.開催日 平成25年4月20日(土)～12月14日(日) 全30回

ウ.場 所 当館全域

4. 学校教育連携事業

(1) 大学博物館実習

ア.内 容 奈良大学通信教育部と関西学院大学の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

イ.期 間 平成25年7月27日(土)・28日(日)、10月26日(土)、11月16日(土)

ウ.受入人数 31名

(2) 中学生の職場体験学習

ア.内 容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期 間 平成25年10月29日(火)～31日(木)

ウ.受入人数 2名

(3) こども囲碁クラブ

ア.内 容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア14名が指導にあたった。

イ.期 間 平成25年4月13日(土)～平成26年3月29日(土)

第一週を除く土曜日 39回実施

ウ.生徒数 50名

(4) みんな伝統文化体験教室

ア.内 容 文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業として、近隣の小学生親子を対象に「親子茶道・書道教室」を開催した。

イ.期 間 平成26年1月18日(土)～3月16日(日)

14回実施

ウ.参加数 22組44名

(5) むかしのくらし体験学習

ア.内 容 文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業として、小学3年生社会科「昔のくらし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ.実施日 平成25年5月2日(金)他 計20日

ウ.受 入 高槻市立富田小学校3年生34名他 計20校1,635名

(6) みんな子ども絵画教室

ア.内 容 文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業として、小学生を対象に、絵画を通じてより民家や自然風景に親しみと興味を深めてもらう目的で実施した。

イ.期 間 平成26年1月26日(日)～3月5日(日)

6回実施

ウ.参加数 19名

(7) 豊中マチカネ先生塾

ア.内 容 豊中市教育委員会主催の教員を目指す大学生を対象とした研修講座の「校外学習・体験学習」演習を博物館を会場に実施。学芸員が指導した。

イ.期 間 平成25年9月7日(土)

ウ.参加数 18名

5. ボランティア受入活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、62名が活動した。(内3名が新規登録者)

6. 施設整備事業

(1) 大阪府指定有形文化財旧藤原家住宅(南部の曲家)保存修理工事

ア.内 容 昨年度からの2ヵ年度継続事業として行われ、今年度は、屋根の一部葺き替え及び差し茅、耐震補強、建具修理、壁の補修等を行い工事を完了した。また、工事の完成を記念して、解説見学会を実施した。

イ.工事期間 平成25年4月1日(月)～9月15日(月)、見学会9月27日(金)

(2) 国指定重要有形民俗文化財白川の合掌造り保存修理工事

ア.内 容 各所の経年劣化が進行している合掌造り民家について、耐震診断調査を実施し、その結果に基づいて茅屋根棟廻り及び床板等の補修を実施した。工事は2ヵ年度事業で、平成26年度も継続される。

イ.工事期間 平成26年2月25日(火)～3月31日(月)

(3) 園路等の補修

ア.内 容 能勢の民家から奄美大島の高倉へのスロープ及び高倉周辺の排水溝を整備した。また、越前敦賀民家へ向う階段を新設し、周辺の植栽を整備した。

イ.工事期間 平成25年6月9日(日)～7月25日(木)、11月26日(火)～12月15日(日)、平成26年2月18日(火)～3月25日(火)

(4) 危険木の伐採

ア.内 容 倒木による建物への被害及び入館者への危険性があつた職員休憩室横のクロガネモチ、長屋門前のアベマキ、椎葉の民家裏のカシノキ、クヌギを伐採した。

イ.工事期間 平成25年10月18日(金)～22日(火)、12月15日(日)～25日(水)、平成26年1月5日(日)～22日(水)

7. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内(9月～3月)	8月	15,000部
春・夏の催し案内(4月～9月)	3月	15,000部

(2) 外国人向けDVD及びパンフレットの作成

外国人向けのプロモーションビデオ（DVD）と英語、中国語、韓国語表記のパンフレットを製作し府下の各施設に配布した。また、緑地公園駅前に3ヶ国語表記の案内看板を設置し、外国人利用者の利便性をを向上させた。（文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）

(3) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(4) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。
また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(5) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(6) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。（実績・・・民家の案内 210冊、民俗 11冊）

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

9. その他

全国の野外博物館の連絡協議会組織である、全国文化財集落施設協議会（野外博物館ネットワーク）の平成25年度例会を、当館において開催し、近年における野外博物館における課題などについて協議した。

開催日 平成25年12月4日(水)

10. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成25年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	4,045	1,371,800	25
5月	4,967	1,243,850	27
6月	2,414	599,600	26
7月	1,548	329,100	26
8月	1,311	285,550	27
9月	2,001	496,650	25
10月	4,483	926,750	27
11月	4,247	1,160,600	26
12月	1,389	331,200	22
1月	2,214	510,850	23
2月	3,161	629,950	24
3月	3,182	835,750	26
合計	34,962	8,721,650	304

※入館料は消費税込みで表示

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成24年度	39,123人	9,682,350円	305日
平成23年度	34,505人	9,511,750円	305日
平成22年度	39,781人	11,523,990円	306日